



年頭雑感



VEC関西支部の皆様、明けましておめでとうございます。

平成25年の新春を迎えるに当たり、昨年1年間のVECの主な動きを振り返り、合わせて今年の抱負を記してみたいと思います。

昨年4月1日、VECは一般財団法人に移行しました。私どもはこれを新生VECの未来への新たな門出ととらえ、4月27日、東京で記念講演会を開催しました。講演会にはVECをご支援いただいている賛助会員、政府関係者、関連団体の皆さま方、約120名にご参加いただき、改めてVECに対する期待の大きさを感じました。

これを機に債務保証に代わる新たな事業として、「スモール出資事業」を開始することとし、現在栄えある出資第1号案件の発掘に努力しています。

「ベンチャー白書」の編集作業は今正に進行中ですが、少しでも今後の明るい展望の兆しにスポットを当てられないか検討しています。これまでは年1回しかベンチャー投資額等の集計をしていませんでしたが、今年からは四半期に1回ペースでベンチャー投資額等の推移を動的に分析できるよう準備中です。

さらに、これを足掛かりとして日本のベンチャーデータベースを確立できないか構想を膨らましています。

ホームページのデザインも一新させ、将来的には英語版や中国語版もアップし、我が国唯一のトータルなベンチャー関連情報の、世界に向けた発信ポータルサイトとしていくつもりです。

ベンチャー支援関係団体との連携強化も昨年の課題でした。新たに日本ベンチャー学会の理事に選出していただいた他、キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)の審査委員にも就任させていただきました。この他にも各種ベンチャー関連イベントの後援等による支援活動を進めてきました。

ベンチャー企業に対し事業展開のソリューションを提供し、ベンチャーエコシステム(生態系)を確立し、成功事例の積み重ねによりイノベーションを促進し、ひいては日本経済の成長と雇用創出にソリューションを提供すべく、新生VECとしてさらに努力を続けていく所存です。今後ともますますのご支援をお願いいたします。

一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター
理事長 市川 隆治

★2013年の抱負と夢★

近畿経済産業局 産業部
創業・経営支援課長

大西 宏志

一機関誌てんこもりの第100号発刊を心からお祝い申し上げます。

さて、現状、我が国企業は厳しい事業環境に見舞われていますが、苦しい時にこそイノベーションの源泉があり、ビジネスチャンスです。眠っている能力や資源を国民一丸の取組みにより開花させることができるような環境整備を図り、日本再生に大なる貢献をしたい、これが私の今年の目標です。ご協力をよろしくお願いいたします。

石田会計事務所

代表 石田 和子

一毎年、今年こそはと期待するが、一向に良くなった実感が無い。むしろ益々経済状況が厳しくなっている。他力本願でなく自力で、この時代を乗り切らねばならない。今年は、より一層ビジネス交流に力を入れ、私のクライアントが新製品や新技術を創出できるよう側面から支援し、共に成長したい。その願いから昨年後半より「石田塾」なるものを開催し、情報交換と同時に新製品等が産み出される仕組みを組織し、そこで作ってみたい製品が出たので本年度は製品開発に向け、各技術者の方に集まっていたく予定である。次に個人的なこととしては、昨年立ち上げた婦人服等「キテーナ」(商標)が皆様に愛され、一着でも多くお召し頂けることを心より願っている。このようなことからVECの会員皆様のお力添えを是非お願い致したく、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

京都女子大学 現代社会学部

准教授 西尾久美子

一新年、明けまして、おめでとうございます。また、てんこもり100号発行、心からお祝い申し上げます。

さて、今年の私の抱負は、干支の巳にちなんで、「脱皮」です。環境変化のスピードが早くなり、変化の質そのものも今までと異なっています。ですから、単に変化についていくだけの適応では、イノベーションは起こせません。そこで、自分自身の本質的な良さ、オリジナリティを大切にしながら、今までの殻に閉じこもらず、さらなる成長を目指す、「旧態を脱皮」しようと思います。

コンフィット株式会社

オートバリュー株式会社

代表取締役 尾添 純一

一中古車業界に飛び込み起業してから3年あまり、様々なチャレンジを通じて多くの経験をし、またネットワークを構築できました。今年は組織も新たに、いよいよ攻めに転じていきます。キーワードは「中古車流通のボーダレス化」です。「制約条件は解除の対象である」という旧師の教訓を胸に、ベンチャー精神・フロンティア精神を忘れることなく、新たな可能性に挑戦し続けます。引き続き宜しくお願い致します。

本田工業株式会社

(一財)ベンチャーエンタープライズセンター

関西支部長 本田 英行

一新年を迎え、本年の景気の動向が議論されていますが世界的な冷え込みが予想されています。わが国も少子高齢化が一段と進み特に高齢者の雇用の確保が重要となっています。今年こそ幅広いベンチャービジネスの起業が求められます。VEC関西支部では会員同士のネットワークをより推進し新ビジネス情報のキースティションとして他のベンチャー支援機関とも連携しベンチャー情報を発信して行きたいと思っています。

♪ 番外編・女子大学生の抱負と夢です。♪



◆2013年には大学の二回生になり出来る事が増えます。そこで、やりたいことはたくさんあります。一番は留学です。でもまずは英語の勉強です。勉強を続けていますが、まだ自信を持って話せるようにはなっていません。夏までに自信を持って話せるようになり、短期留学に行くことができたいと思います。将来就職したい業界はあるので、それに向かって日本だけでなく海外でも学びたいです。なので、英語を話して短期留学する事が私の2013年の抱負です。
(大阪成蹊大学 1年 越智ゆりか)



◆I have a dream. そう、私には夢がある。やりたいこともたくさんある。二十歳になる今年、私は何をしておくべきなのか、と考えてみました。大学に入った理由の一つである情報学の資格を手に入れることはもちろんでしょう。そして、長年避け続けた英語にも向き合う時期なのだと思います。私はいつか、海外に行って自分の知らない人々の生活を見たいと思っています。知らないことを知ることで、自分という人間を作り上げたいのです。自分を知るため成長させるために、この一生に一度しかない二十歳の一年を最高の年にすることが私の目標です。
(同 大学 1年 河野裕子)



◆私は、中国遼寧省から来た留学生です。卒業後は日本で、ネットビジネス関連の企業に就職をめざして、マネージメント学部で経営情報に関する勉強をしています。在学中に、いろいろな資格を取りたいです。2013年は日本語のN1の資格と日商簿記の3級の合格を目標に頑張ります。もし、実現したら、3年の時に関西の企業でのインターンシップを希望しています。いい就職先を探すと同時に英語の勉強のため、TOEICに挑戦してみます。将来のネットビジネスでの起業を夢見て、しっかり勉強します。
(同 大学 2年 周 陶然)

●●● おかげさまでてんこもり 発刊100号となりました! ●●●

「米中の回復に期待が掛かる内外経済見通し」

●昨年の世界経済は引き続き欧州の債務問題に揺さぶられましたが、夏場以降は米中の景気に持ち直しの動きが出てくるなど、明るい兆しも出てきています。今年も期待しても良いのでしょうか？

結論を先に言えば、昨年よりは明るい展望が描けるものとみています。世界経済のリード役である米中の景気回復は継続する可能性が高いとみられるためです。米国は住宅市場の回復の広がりや牽引役になるとみています。住宅の販売・着工の回復は家具などの住宅関連財への消費増や関連産業の雇用増を促すほか、特に住宅価格の上昇は資産効果を通じて消費を大きく刺激することが注目されます。ちなみに、住宅は家計資産に占めるウェイトが高いこともあって、株の3倍程度の資産効果があると言われていて、また、オバマ大統領が再選されたことも、金融緩和を通じて景気の下支えが期待される点で心強いところではあります。

一方、中国はこれまでの財政・金融両面に渡る景気対策の効果が回復の支えになると思われます。特に、高速道路や鉄道、港湾などのインフラ投資の拡大が主役を果たしていくとみられます。こうした米中の景気回復の動きが次第に新興国にも波及し、新興国の経済も全体として底入れから回復に向かうものとみられます。特に、貿易面での繋がりが深いアセアンをはじめとしたアジア地域が相対的に高めの成長をキープしていくものと予想されます。欧州債務問題には引き続き注意が必要ですが、金融市場の安定などからみれば、世界経済への下押し圧力はピークを過ぎたものと思われそうです。

●日本経済はデフレの解消に目途が立たないなかで、閉塞感の強い状況が続いています。また、日中間の政治的な緊張が高まるなど、新たな懸念要因も出てきています。昨年夏場以降、景気は後退局面に入ったと言われていたのですが、今年度の日本経済はどのような展開をみせるのでしょうか？

確かに、足元は景気後退局面が続いており、雇用情勢も悪化するなど、厳しい経済環境となっていますが、さほど悲観的にみえていく必要はないものと予想しています。具体的には、日本経済は春先にかけて景気底入れのタイミングを窺う動きをみせた後、年央頃から年末に向けて次第に回復の動きを強めてくるものとみています。というのは、①春先頃までは遅れている素材産業でも在庫調整が完了し、循環的な景気のパターンが上向きのステージに入ってくるとみられること、②新政権発足後、来年4月の消費税の引き上げを睨んで、財政面からの大型の景気対策が打ち出される公算が大きいこと、これに歩調を合わせる形で追加の金融緩和が予想されること、③米中の景気回復を受けて、日本経済の生命線である輸出の減少に歯止めが掛かり、春先以降は回復に向かうと予想されること一などのためです。欧州債務問題の山場越えなどから、日本経済や日本企業の大きな足枷となっている円高が是正されつつあることも支えになるものと考えています。中国リスクについては、習近平体制下でも政治的な緊張は続くものと考えられますが、日本経済への影響は次第に小さくなっていくものと考えています。品質に優れた日本製品や部材、サービスが中国・中国企業にとって欠かせぬ存在になっているからです。ただ、日本企業のチャイナ・プラス・ワンとして生産拠点をアセアン地域を中心に分散させる動きは続くものと思われそうです。

岡三アセットマネジメント 株式会社



～大阪駅前第1ビル8階にオフィスがある新潟県大阪事務所様から新潟県についての魅力や経済等について伺いました。

さらに詳しくお聞きされたい方は是非大阪事務所を訪ねられては如何ですか。

一 大阪事務所の業務や活動内容についてお教え下さい。

新潟県大阪事務所の主な業務は

- ①新潟県での工場や事務所立地のサポート
- ②関西圏の企業と県内企業との経済交流のサポート
- ③新潟県の観光情報の提供

事務所内に観光センターを併設しており、新潟県内の観光情報や県内各地のパフレット等の設置、配布、観光相談に応じております。

一 新潟県の魅力について聞かせてください。

日本一長い信濃川が流れ、米どころとして全国に知られる新潟県は、四季折々の自然の恵みを受容できる魅力に溢れるところです。日本海側の中央に位置し、古くから日本海側の交通の要衝として栄えてきました。

昭和57年の上越新幹線開業をはじめ、関越道、北陸道、磐越道、上信越道、日東道の5つの高速道路による交通インフラ整備がなされ、生産、物流拠点として大きな役割を果たしています。また、農林水産業のイメージが大きい新潟県ですが、県内には金型や精密加工をはじめ、材料・表面処理、鋳造、金型プレスから食品加工まで、ものづくりには欠かせない高度な基盤技術が高度に集積し、オンリーワン技術を持つ企業が多数活躍しています。

一 魚沼産コシヒカリや銘酒の蔵元で有名ブランドも多いですが、観光やグルメも魅力いっぱいではないでしょうか。

新潟は「自然」や「温泉」が豊富です。佐渡は雄大な海岸美が堪能できますし、越後湯沢や松之山などでは雪深い温泉も魅力です。しかし、何と云っても新潟県の魅力は「食」ではないでしょうか？

日本海の魚介や村上の鮭など味覚、淡麗で辛口な地酒も魅力です。食味の良い新潟のお米は魚沼産コシヒカリだけでなく、岩船産コシヒカリ、佐渡産のコシヒカリなど、産地ごとに美味しいお米が揃っています。その土地で採れたお米をその土地の水で炊き、その土地ならではの炊き方で一緒に食べる。これこそ最高の贅沢だと思います。そんな美味しい食べ方にこだわり、新潟の美味しいお米をたくさん召し上がっていただくこと「にいがた朝ごはんプロジェクト」を新潟県内の温泉旅館のみなさんが進めています。

また、最近ではB級グルメとして「糸魚川ブラック焼きそば」「柏崎鯛茶漬」「新潟タレかつ丼」等が地元で賑わっています。意外と知られていないのがラーメンでしょうか。背脂・生姜醤油・濃厚味噌・あっさり醤油・カレーラーメンが有名で新潟5大ラーメンと言われていています。ぜひ、新潟にお越しください新潟ならではの味を楽しんでください。

一 関西企業へのメッセージをお願いします。

今後新潟県大阪事務所として関西のみなさんと新潟県との橋渡しに努めてまいります。新潟県について何か関心ごとがあれば、いつでもご連絡いただきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。

新潟県大阪事務所：大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第一ビル8階 電話06-6348-9405



VECレポーターが行く!!

新年を迎え「正月料理」のいわれなど、ほんの一部をレポートしてみました。

おせち料理 (御節料理)
もともと「おせち」は季節の変わり目(五節供)のお祝い料理であったが、最も重要とされる正月料理だけを「おせち」と呼ぶようになったそうです。

* 数の子 数の子は卵の数が多く親がニシンであることから「二親」に通じ子孫繁栄を願ったもの。

* 黒豆 黒は道教で邪除けの色とのことでマメ(達者)に暮らせるように長寿と健康を願うもの。

しめ飾り (注連飾り)
しめ飾りは神様との結界を表すそうです。飾る時期はクリスマス後から28日までに飾るのが一般的らしい。29日は二重苦、31日は一夜飾りといひ迎え入れる神様に失礼とされている。

* だいたい 代々子孫が繁栄して行くようにとの願い。

* ゆずり葉 家が次の代へ「ゆずられ」続くことの願い。

* うらじろ 裏が白いことから誠実・潔白を象徴している。

ぞうじ (雑煮)
当初、正月料理に限定されるものではなかったが武家社会において祝い膳として出されるようになり正月料理となったらしい。

* 汁の種類 地域によって色々なものがある。澄まし汁が一番多く、その次に合わせ味噌で関西は白味噌仕立てが多い。

* 餅の種類 地域で差がある。焼いた四角形の切り餅(角餅)を使うのが一番多いらしい。丸餅は西日本が多いが北海道など丸餅と角餅が混在しているところもある。雑煮を食べる風習がない地域や小豆雑煮、しし肉入り雑煮など地域で食べ方に特色がある。

正月に良い縁起を願うのはいつの世も変わらないものです!!

～VEC関西より～

「てんこもり」創刊100号 皆様を支えられお陰さまで続けることが出来ました。景気は年明け早々よい話は少ないですが、今年には江戸中期の米沢藩が立ち直ったごとく、上杉鷹山の施策、即ち倹約と新ビジネスの創設、発展で不況を乗り越えましょう。(本田)

新年を迎え皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。昨年の漢字に選ばれた「金」(キン)が今年には「金」(カネ)となり経済成長その他、私たちの生活環境も良くなることを願いたいと思います。今年もよろしくお祈り申し上げます。(藤本)

昨年は公私ともに忙しい年でした、今年は一息ついてリセットし「心機一転」地道に目の前の出来ることからゆっくりでも頑張っていきたいと思っています。この新しい年がより佳き年になるよう心より祈念いたします。(濱本)

己は蛇があてはめられることから「復活と再生」「蓄財」を表すとのこと。VEC関西支部も巳年に相応しい事業展開を目指して行きたいと思っております。ご支援ご協力の程お願い申し上げます。(澤村)

◆<新年交流会のご案内>

平成25年2月13日(水) 午後6:00 講演と交流会
講師：株式会社フジキン
代表執行役社長兼COO 野島新也 様
場所：綿業会館



一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293



先人の商人に見るベンチャー精神



江戸時代以前の日本の歴史を見ると、大商人と呼ばれる方々が多く存在しました。その多くは権力者と結びつき発展した「門閥商人」でしたが、自分のアイデア、技術、商品開発で本店と呼ばれる店に発展した商人が数多く見受けられます。その中で、自分の知恵と才覚で大きく飛躍した方々を少しだけ紹介したいと思います。

1. 顧客サービスの大転換を行い成功した例

①三井高利(1622~1694・松坂出身)

現在の三井グループの創業者。高利は、呉服屋(屋号越後屋)で顧客満足度を達成するために、当時の商売では考えられない次のような手法を考案した。

- ・店前現銀売り(たなさきげんきんうり)
店頭での現金販売。当時は盆と暮れの節季払いという掛け売り方式。
- ・現銀掛値無し(げんきんかけねなし)
正札をつけて現銀売りをとなえ、安心して安い値段の商品を買う方法。当時はお客によって値段を上げ下げするのが慣習であった。
- ・「小裂(こぎれ) 何程(なにほど) にても売ります」
端切れ、少量の要望でも販売した。当時反物売りが常識であった。
- ・「諸国商人売り(地方商人への卸)」
- ・「即時仕立て」・「番傘貸し」(店名入番傘貸し出し)・「引札」(ちらし配布)

何故、高利がこのようなサービスを考案したか詳細は不明ですが、当時としては画期的なサービスであり、店は大繁盛した。越後屋は後の三越百貨店と発展。

②國分勘兵衛宗山(?~1739・松坂出身)

國分(株)の創始者。元々呉服屋でしたが江戸での醤油の需要を見込み、土浦で大國屋の屋号で醤油醸造を始めた。しかし、同業者乱立で利益が出せなくなり、利益向上のために、樽のリサイクル事業を始めた。当時、醤油などは消費地に樽で送られ使用済みの樽は廃棄されていた。勘兵衛はこれに着目し、空樽を安価で集め、生産地に送り返す商売を始めた。この商売は大いに繁昌し後に「空樽問屋」が多く出現した。

2. 技術開発・技術導入・製品開発より成功した例

①塩原太助(1743~1816・上州出身)

炭団(たどん)を発明し大富豪となった。「本所に過ぎたるもの二つあり、津軽屋敷に炭屋塩原」と言われていた。太助は得た利益を様々な治水事業に注ぎ込み社会奉仕をしたと伝えられる。落語の「塩原多助一代記」は有名。太助は幼い頃より炭屋に奉公し熱心に働きその経験から炭団(たどん)を開発した。炭団とは商品にならない廃品の木炭の端材、粉などをつなぎ(のり・澱粉)と混ぜ合わせ団子状にして乾燥させた廃品応用の燃料のこと。着火が良く、長時間使用できるため火鉢、炬燵、調理用に当時大ヒットしたと伝わっている。

②住友友以(とももち)(1607~1662・京都出身のち大坂で発展)

住友グループ創業者の2代目。蘇我理右衛門の長男で娘婿として住友家に入った。理右衛門は新しい技術である「南蛮吹」と呼ばれる銅精錬法を友以と協同で日本人として初めて成功し、現在の住友の基礎を築いた。明治期まで、住友財閥の利益の根源となった。友以はこの技術を広く公開し同業者の発展に大いに寄与した。「南蛮吹きの宗家」として尊敬され、大坂は銅精錬業の中心地となった。

③西川甚五郎(1582~1675・近江八幡出身)

西川グループの2代目(創始者西川仁右衛門の子)。萌黄(もえぎ)蚊帳を発明し巨万の富を得た。萌黄色とは緑色のこと。甚五郎によると『寝る時も、また目覚めた時も、涼味あふれる緑に囲まれていたならば、蚊帳の中にいる人の気持ちを和ませ爽快な気持ちにさせるであろう』と言い残している。日常生活品に「色」の特徴を取り入れた斬新な商品で当時大ヒットしたと伝わっている。

これらは一例に過ぎませんが、昔から日本人は新製品開発、新サービス導入、新技術導入を熱心に行ったベンチャー精神を持った国民だと言えます。これら先人の精神が明治以降の発展につながったのではないのでしょうか。我々ももっと先人に学び、先人を越えるように努力しなければならないと思っています。



新和商事株式会社
代表取締役 森下喜郎

ウォールガーデン(3Dガーデン)展開の提唱

数年前の夏、オーストリア、ウィーンで10日間程、マリアテレジアの影響を強く受けた文化・芸術に触れるショートステイを敢行した。伝統的な街づくりの成果がいたるところで見られ、また、ショップにはヨーロッパ各地からのデザイン豊かな品々が並び学ぶこと多い旅となった。とにかく、緑豊かで、ベランダを木立につくりあげたモダンなアパートも多く見られ、人間と植物が共生しているとの印象を強くもった。その折、21世紀のガウディと称されるフンデルトバッサーデザインの大変ユニークな建物に遭遇した。

それは、ベランダや屋上に大きな木を植え、その枝が通りに垂れ下がり、あたりに独特な景観を醸した建物である。日本にもこんなデザインの建物が並べば家も通りも緑になるだろうに!と思いつつ帰国した。

都市(アーバン域)緑化には、駅の屋根の庇部分、架橋下や小さな空地を使うことが有効と思っていたが、それを垂直方向に向けると壁面が変わることに気が付いた。その視点で街中をみると至る所で壁面が見つかり、ほとんど活用されていない。要るとしても広告に使われているのが関の山であることに気が付いた。そうだ!木立や畑、小型果樹園を壁面に設けることは可能ではないか!と思った。

弊社、テラプロジェクト、まちラボの一テナントである、小松精練株式会社の製品にGB基盤がある。この基盤は産業廃棄物を素焼きにした板状でその破砕物は植物育成に好都合である。しかし、大学のラボで、この基盤は、3D(立体ガーデン)、ウォールガーデンの部材としても最適であることを確認していた。これを箱型に組立てその中に植物を投入すれば、丁度、壁に設けた巣箱の如く鳥の代わりに草

花やブルーベリー、キンカン、お茶の木などを植え付けることでウォールガーデン化することができ、3Dガーデンが出来上がることに興味をもった。

折しも小松精練さんの関係者がイタリアから来日し、GB基盤を用いた3Dウォールガーデン(SUBACO)に興味を持ち、ミラノ万博でのショーアップの可能性が生まれた。

壁に巣箱を設け草木を投入し、楽しむばかりでなく農産物生産を楽しむ形は都市の有効活用の一策となりえる。弊社団の所在地は、大阪のど真ん中、北区であり、シンボル花はバラである。世界に300種ほどのバラが存在し、ウォールガーデンとしての壁面活用は緑豊かな美しい街づくりに打って付けであり、世界初の試みでもある。弊社団は、「Go Greening!」活動の一貫として大学や企業と協働でウォールガーデンを支える基本技術の確立と3Dガーデンの普及に努めたいと思っている。



「一般社団法人 テラプロジェクト」理事長 小林 昭雄
(大阪大学名誉教授)

<保育ジジイの日本経済入門> ホンマかなあ？

2012年11月3日(土)。楽しく飲んでいと天の声が。「来年2、3月号の原稿頼むで〜」「ハ〜イ!」。年に一回は書かないと、遊んでもらえない。引退して三年余。「糊と鉄で書かれた」本が巻に溢れる。最近「コピー」という(copy&pasteの略)。「エセ知識人、根拠もないのにアドバラン(字余り)」。ついオヤジ川柳の皮肉が(ホンマ、性格悪いなあ)。

やれ円高で企業の海外脱出に拍車がかかる、日本は衰退するだの、百家争鳴で実に騒がしい。典型は消費税増税論議。今にも財政破たん、と言いながら、海外で「日本は大丈夫」とちゃっかりPR。綺麗な表現でダブル・スタンダード。世間はこれを「二枚舌」という。現状をしっかりと押さえ、自分で判断したい。以下、国の数字(信用して)を引用し簡潔にコメント。

・財政は破たんする？

表1の注①をご参照。国の借金は実質641兆円です。金融資産以外にも膨大な実物資産(不動産など)がありますが、数字はわかりません。国は「負債」の1,124兆円や939兆円の証券(国債発行など)のみを強調。また表3の注③を見れば外国の日本国債保有は8.7%。根拠のない国債暴落論は、当面あてはまらないのでは？

・法人税収入

国の歳入内訳。平成23年度の一般予算は、歳入総額92兆4,116億円。半分近く(47.9%)は借金。本当の収入は、多い順に、所得税13兆4,900億円、消費税10兆1,990億円、その他(揮発油税、相続税、酒・たばこ税、関税)9兆4,460億円、法人税7兆7,920億円、その他収入7兆1,886億円。不思議ですね。輸出立国だの、やれ雇用に響くだの、大騒ぎしながら、歳入の大半は、庶民からの「税金」。この上、さらに消費税が上がる予定。ちなみにGDPに占める輸出の割合は10%代の半ば(14.5%)。海外に比べ法人税率が高い、下げるべき、との声もありますが、数字で見ると、絶対額はこんなものです。税金の抜け道(各種の租税特別措置法)が効果を発揮？

・円高の理由

表1と表2の注②をご参照。2011年末の対外「純資産」は253兆円(2012年6月末は258兆円)。断トツで世界一。世界中の国々がジャブジャブと金融緩和していますが、マネーはリスクを嫌って安全なところに逃避。円高の要因も案外こんなところにあるのかな？

・法人税収入と海外子会社からの収益

対外「純資産」の続き。表1の注②をご参照。海外の資産(本邦対外資産)総額は630兆円。国内の民間非金融法人、つまり中小零細法人もあらいざらい含め、国内の資産総額は788兆円。企業の海外資産の大きさがご理解いただけるかと。生産に直結している直接投資残高は74兆8,280億円、うち製造業は35兆8,877億円(2011年末)、その果実(利息・配当収入)は平成22年度で3兆4,947億円です。電気料金や人件費がこれ以上高騰すると企業の海外脱出が云々という以前に、中堅以上の企業は想像以上に多国籍化が進展しています。

(2012年11月11日・記)

(補足)12月26日に新政権発足。日銀を悪者にしてデフレ脱却とか。国債の安定消化(薄氷の)をプチ壊し、さらに200兆円の公共事業をばら撒くと。国債の値下がり、貸しはがし、倒産の増大、リストラの加速も。市場のご祝儀相場は終了。年明けから「財政の崖(減税終了、大幅な緊縮財政)」により米国経済も失速。EU(ドイツを除く)、中国も怪しい。頼みは内需だが、消費増税で個人消費も減退、高齢者の財布も固くなる。私見だが、デフレの原因は高齢化、人口減、賃金の低下(非正規雇用の拡大も含め)。年収200万以下が1千万人を超えるとか。処方箋は、溜め込んだ資産の還元。特に若い世代に。発展する企業(ヤマト運輸など)は終身雇用を大事にする。技術流出も生じない。付け焼刃の場合当たり経済政策は暴走族のドリフト走行に似ている。私の予想が大きくはずれ、物笑いになることを切に祈るのみ。

(2012年12月23日・記)

あ〜あ、やっと済んだな、今年のノルマが! 追伸。以上の数字はインターネットで検索できます。

表1 部門別の金融資産・負債残高(2012年6月末/兆円)

負債(資金調達)	資産(資金運用)	差引
家計 356 借入 (297) その他 (59)	家計 1,515 現金・預金 (844) 証券 (183) 保険・年金・準備金 (424) その他 (64)	1,159
民間非金融法人 1,030 借入 (328) 証券 (431) その他 (271)	民間非金融法人 788 現金・預金 (208) 証券 (173) その他 (406)	▲242
一般政府(中央政府、地方公共団体、社会保障基金) 1,124 借入 (167) 証券 (939) その他 (18)	一般政府(中央政府、地方公共団体、社会保障基金) 483 財政融資資金供託金 (41) 証券 (215) その他 (227)	▲641 注①

表2 主要国の対外純資産

国	対外純資産	対GDP比(%)	時点
日本	253兆100億円注②	54.0	2011年末
中国	137兆9,297億円	24.0	2011年末
ドイツ	93兆8,947億円	36.4	2011年末
スイス	73兆2,205億円	156.9	2011年末
香港	54兆6,137億円	288.1	2011年末
ロシア	1兆2,771億円	1.0	2010年末
カナダ	▲16兆2,215億円	▲12.4	2011年末
フランス	▲22兆2,302億円	▲10.6	2010年末
英国	▲24兆2,616億円	▲13.4	2011年末
イタリア	▲34兆6,424億円	▲21.8	2011年末
米国	▲201兆2,548億円	▲17.0	2010年末

注:財務省資料を簡略化して作成

表3 国債等の保有者内訳(兆円・%)

金融機関	176(18.7)
中小企業金融機関等	179(19.1)
保険	146(15.6)
国内銀行	29(3.1)
年金基金	29(3.1)
小計	616(65.5)
一般政府、公的金融機関	93(9.9)
中央銀行	96(10.2)
海外注③	82(8.7)
家計	27(2.9)
その他	26(2.8)

注:財務省資料を簡略化して作成

海外(本邦対外負債)	海外(本邦対外資産)	差引
証券 (177) 貸出 (107) その他 (88)	証券 (373) 借入 (88) その他 (171)	258 注②

注:日銀の資金循環統計を簡略化して作成



羽世田 鉦四郎(元ベンチャーキャピタリスト)

トピックス

☆ワンタッチで開く冷蔵庫

東芝がボタンを押すと自動でドアが開く冷蔵庫「ベジータGR-F62FX」を2月下旬に売り出すとのこと。調理中で手のひらが汚れていても手の甲でボタンを押せるほか、力の弱いお年寄りや子供も使いやすのが特徴。また、きめ細かく温度を調節し、通常運転時より最大20%節電できるらしい。想低価格は31万円前後とのことですが、もう少し安くなることを期待します。



☆「ツタヤ」書籍売上で首位

DVDレンタルなどのチェーン店を展開する「TSUTAYA」の書籍販売部門の2012年売上高が過去最高の1097億円となり業界最大手の「紀伊國屋書店」を抜いて首位になったとの事です。全国約1500店のDVDレンタル店に併設する形で増やした書店が約700店あり、売上増に寄与した。会員カードから購買履歴を分析し売れ筋の書籍や雑誌に絞った品揃えが効果上げたと分析。しかし国内市場全体の書籍売上げは減少傾向にあるらしい。(以上、朝日新聞より抜粋)

VECレポーターが行く!!

リクルートが2013年にトレンド予測を発表されました。

同社のホームページから7つの領域におけるキーワードを要約しました。

<領域>	<キーワード>	<トレンド予測>
・住宅	家を開く	カフェ・ギャラリーなどに自宅の一部を開放し公共化と交流
・学び	「元祖★おケイコ女子」リターンズ	バブルを知る子育てが一段落したミドル女性が習い事市場へ再デビュー
・美容	まもも族	娘と一緒に「ママ」もきれいになりたい
・自動車	スニーCAR	スニーカーのように車選びも個性主張とニーズ充足
・進学	寮内留学	国内の学生寮などで留学生と日本人学生と共同生活を交流
・アルバイトパート	コラボワーク	女性やシニアが分かち合い、助け合いながら働く
・就職	試職(ししょく)	実際の仕事や職場を体験し、お互いに納得してから入社

~VEC関西より~

- ・今年も、年末年始が足早に過ぎ去ってゆきました。正月、VECの応接机の上においた正月祝い類も、もうなくなってしまいました。沢山の皆様が、VECを訪れていたいただいた証拠なのか、ただ、年始を祝う方々が、だべりに来ただけなのか?でも、目的は何であれ人と人とのネットワークは、ベンチャー発展の礎。ことしも、どんどんお立ち寄りください。(本田)
- ・今年も始まった早々、TV・新聞では大変なニュースばかりです。「てんこもり」では少しでも明るく楽しく、皆様に良い情報等を発信して参りたいと思っております。皆様の情報もお待ち致しております。(藤本)
- ・立春を迎え、いよいよ春が視野に入ってきました。VEC関西支部も新年交流会や合同交流会の開催に加え「てんこもり」2月号も各分野の方々からベンチャー精神いっぱいメッセージをいただきました。(澤村)

<交流会の予定>

平成25年3月18日(月) スタジオ・アリュール 代表 上田恵子 様

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293



細川信義先生を偲んで

エンゼル証券株式会の代表取締役で公認会計士の細川信義先生が、かねて病氣療養中のところ、平成24年11月18日に逝去（享年72歳）されました。この訃報は、杉田さんからのフェイスブックでのメッセージでした。最近お逢いする機会がなかったので、本当に驚きました。小生と同様にカメラ小僧で、いつも、裸足の下駄履きで、ゴロゴロとキャリーを引いたお元気な細川先生が・・・。

先生との出会いは、高専生のアルバイトをお願いした縁で15年程前だったかと思います。

突然、事務所に訪問しても、奥様（さわ子様）が、いつも隙間をうまくぬって先生に逢わせて頂けました。その奥様も13年10月に亡くなりました。その時の「ご会葬お礼」の書面で、奥様との出会いから旅立ちまでのことしたためられていて、深い愛情が溢れていたのが印象的でした。

ところで、元経済産業省の杉田定大さんとの出会いは、大阪大学の経済学部でのベンチャー講座の時に先生から紹介されました。その縁で、恒例の「3ヶ月ごとの会合」で、杉田さんの講演、交流会、その後10階事務所の畳の間での歓談が懐かしく思い出されます。

昨年12月6日18時のNHKラジオ第一放送「ラジオタ刊」では、大島春行解説委員が聞き手で杉田さんが、細川信義さんを偲んでベンチャー話をされました。そこで、先生は、「関西（日本？）のベンチャーの父」として若い起業家を応援し、IT系のグループウェアで有名な「サイボーズ」や京都大学発ベンチャーの「ドリコム」などの資金調達支援や株式公開を手助けされたと紹介されていました。

学生の起業支援で、先生に大変お世話になりました身近な2人を紹介します。

1人目は、事務所の傍らで、宮原秀夫先生（元大阪大学総長）のもとで卒業研究していた藤原礼征さん（株式会社ソリューションズ代表、トーテックサイバーセキュリティ研究所所長）が卒業研究の内容を発展させて学生時代に起業しました。2人目は、奈良高専でベンチャー研究会を立ち上げた1人の菅田太朗君が、京都大学に編入学し、大学院時代に起業（モバセンス株式会社）し、現在はベトナムで活躍しています。

息子様の正直さんが公認会計士として、後を継がれていることが心強い次第です。また、大阪ベンチャー研究会を主催されている小西一彦先生（前追手門学院大学）とは、数年前に事務所でお会いして以来、いろいろとお世話になっています。このように、多くのベンチャーの方との出会いの機会をつくって頂いたことに感謝しつつ、細川先生のご冥福を祈ります。細川信義先生、本当にありがとうございました。奥様とごゆっくり・・・

最後に、23年7月の大阪成蹊大学での第4回ビジネスプランコンテストで、快く審査委員長を引き受けて頂いた時の写真を掲載します。



大阪成蹊大学 マネジメント学部教授 工藤英男

右手にロマン、左手にソロバン

1. ロマンを追いすぎ挫折した「ハウステンボス」

新しい事業や会社を始める時は大きな理想や熱烈な志を抱いて創業することが多い。例えばハウステンボスを1992年に神近義邦さんが創業したが、彼は単なるテーマパークでなく、自然と人間と一体となった環境未来都市作るという壮大なロマンを抱いていた。

彼の理想は「エコロジーとエコノミーが共存する街」、すなわち環境に配慮したエコロジーの街を作ると同時にこの街は経済的にも採算があるエコノミーの街を作ることであったが、残念ながらこの理想は達成できなかった。

要するにロマンを追い求めた結果、ソロバンが甘くなり経営破綻した好例である。しかし2010年には新しい経営者としてHIS社の澤田秀雄さんが経営に乗り出し、新しいコンセプトをいれてハウステンボスを見事に再建させたことは嬉しいことである。

2. ソロバン優先で破綻したリーマンブラザーズ

2008年に世界を金融恐慌に陥れたリーマンブラザーズの破綻は企業活動を支援するのが本来の目的であるべき脇役の金融機関（血液）がそれを忘れ、主役に踊りいれ企業（身体）を殺してしまった。それは金融機関は企業を支援するために投資するが、金融機関がファンドを中心に「企業を安く買って高く売って儲ける」ことを目的としてしまった。

このような金融機関の代表がリーマンブラザーズで、厳しい貸出責任を忘れ、自分たちの実績を上げ、社員は高額給与をもらうために、金融家としての規律を忘れソロバン勘定だけに走ってしまった。しかし、一旦バブルがはじけ不動産価格が急落し始めるとこの「強欲な仕組み」が破綻し、リーマンショックにより全世界の金融機関で200兆円の損失、アメリカの株の時価総額930兆円も減少する大金融恐慌を招いてしまった。

3. ロマンとソロバンの二兎を見事に達成したキッザニア

ロマン優先でもソロバン優先でも事業として成功しないが、この両者のバランスを見事にとり成功している事業にキッザニアがある。

キッザニアのモデルはメキシコで生まれたものだが、その理念は「どんな境遇で育った子どもにも、職業が自由に選べるという夢をもってもらえる場所を提供したい」というものであった。

このメキシコで子どもが目を輝かせ仕事に取り組む施設を見学して、日本でもこのような施設をつくれれば「日本の子どもも働くことを楽しく思うようになる」考え、キッザニアの施設を日本でもオープンしたのが私の大学時代のクラスメート住谷栄之資さんである。彼はWDIの社長として、「ハードロックカフェ」「トニーローマ」「ケンタッキーフライドチキン」などを多くのチェーン店を日本で成功させた実業家で「外食王」として知られていた。

右手のロマンは十分に満足できるキッザニアであるが、左手のソロバンもしっかりしている。それは私のしごと館は入場料に頼っていたが、キッザニアの収入は入場料によるもの50%、飲食店などが15%~20%、その他スポンサーの収入が30%~35%もある。スポンサーとは三井住友銀行、全日空、関西電力などの一流企業で、各社はCSR活動としてキッザニアを支援している。金銭だけでなく本物の仕事のノウハウもスポンサーより全面的に支援され財務・経営的にしっかりしたビジネスモデルとなった。



大成学院大学教授 釣島 平三郎

「明治時代の日本人が予想した現代生活」 ―およそ100年前、日本人が未来世界（現代世界）に求めた「夢」とは？―

今からおよそ100年前、地底探検小説や宇宙探検小説を書いた、フランスの空想小説家のジュール・ベルヌは、巨大な砲弾の中に人を乗せて、月に向けて発射し、月世界を探検させる空想小説を世に出し、一躍、空前のミリオンセラー作家になったことをご存じでしょうか？

60年ほど前には、米国ではすでに、人類が地球上では住めなくなる時のために、地球周回軌道上に、直径2キロの巨大な円筒形をしたスペースコロニー（人工地球）をつくり、人工重力で約20万人が住める人工環境を生み出す研究を真剣にしていました。さらに、火星の「テラフォーミング」つまり、火星を人工的に造りかえ、人類にとって地球上と全く同じ居住環境にしようと言う構想を、NASAが持っていることをご存じでしょうか？

人類は、常に、未来の世界に夢を託し、それがかなうことを心から願い、ついには、実現させてしまう歴史を歩んできました。

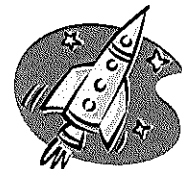
この日本でも明治時代に、今日、我々が日常的に経験している、数々の生活様式の出現を予言していました。

その主なものをご紹介します。

明治34年（1901年）1月3日の報知新聞（読売新聞）の記事が、それなのです。

- | | |
|---------------------------|--------------------------------------|
| ①無線電話で海外の友人と話ができる。 | ②居ながらにして遠距離のカラー写真が手にはいる。 |
| ③経済・文明がアジア、アフリカに移る。 | ④7日間で世界一周ができる。 |
| ⑤空中軍艦、空中砲台ができる。 | ⑥機械で温度を調節した空気を送りだす。 |
| ⑦遠くの間人と話ができる。 | ⑧電気の力で野菜が栽培できる。これは、植物工場をイメージさせてくれます。 |
| ⑨写真テレビで電話ができる。 | ⑩写真電話で買物ができる。これは、ネットショッピングのことでしょう。 |
| ⑪電気が燃料となる。 | ⑫葉巻型の列車が東京・神戸間を2時間半で走る。 |
| ⑬台風を1カ月以上も前に予想できる。 | ⑭人の身長が180センチ以上になる。 |
| ⑮医術が進歩し、電気で無痛手術ができる。 | ⑯馬車がなくなり、自転車、自動車が普及する。 |
| ⑰無教育の人間がいなくなり、男女ともに大学を出る。 | ⑱湖や川の水で起こした電気を、国内に輸送する。 |

これらは、ほとんどが実現しています。では、現代人は、今何を未来に夢みるのでしょうか？ 第二の地球への移住？ それとも、人造人間の登場？ 今、あなたは、何を夢見ていますか？



宇宙・海洋事業コンサルタント 辻 裕彦（つじ ひろひこ）

北京の現状

私は2年ぶりに中国に帰ってきました。久しぶりに中国へ帰って感じたことを書きたいと思います。

まず、最初に飛行機に乗って驚いたことが、乗客が30～40人ぐらいいないことでした。前回、帰国した時と比べると驚くほどの差です。

北京にて不思議だったのは日本のテレビで報道されていたようなデモの様子はまったくありませんでした。みなさんは普通に生活されています。ただ、驚いたことは、物価が2年前と比べると倍以上になっていることです。また、デパートの中をのぞくと、中国ブランドや外国ブランドの売り場が多くあり、中にはユニクロのお店もありました。中国人の中には日本は好きじゃないという人が多くいますが、大半の人達は普通に日本の商品を購入します。もちろん、ユニクロのお店にも多くの中国人客が入っていました。日本ブランドが品質良く安心して使えると思っている人が多いようです。本音とタテマエですね。

また、天安門広場に行った時ですが、タクシの運転手にデモのことについて聞いてみました。参加していた人達はごく一部の人だったようです。その人たちは安い給料で北京に出稼ぎにきて、住むところがなく、10何人で50㎡位の古いアパートで生活しているそうです。毎月の家賃は最低でも7,8千元（10万円～12万円）がかかります。ところが、彼ら給料は平均3千～5千元（4万～7万円）ぐらいです。一人でアパートを借りられる状態ではありません。お金を持っている人はどんどんお金もちになり、持っていない人はどんどん貧乏になり、貧富の差はますます広がっていく感じがします。

最後に私は日本で生活している時間は中国のそれよりも長くなりました。切実に日本と中国の関係はいつまでも友好関係であることを願いつつ終筆します。



（北京市内）

本田工業 株式会社 修 れいな

最近のミャンマー事情



◆注目されているミャンマーで通訳とガイドの仕事をしているカインさんからホットな事情をお聞きました！

「ミャンマーへは日本人の訪問者は増えていますか。」

→はい。訪問者は増えています。

2011年11月にアメリカのクリントン女史がいらっしやってから急に増えました。いままで少なかったアメリカ、イギリスからの観光客も増えましたので英語のガイドさんは足りないほどです。クリントン女史、オバマ大統領、メディアのおかげでいままでミャンマーをぜんぜん知らなかった外国人はミャンマーに目をむいてしまい、ミャンマーはどういう国か行ってみよう、ミャンマーがなんとか変わる前に行ってみよう、これからミャンマーは発展して料金なども高くなるから高くなる前に行ってみよう、ミャンマーに何の仕事が出来るのかしら一応行ってみよう、色々な目的をもっていらっしやっているお客様がいます。

「日本人以外はどの国の訪問者が多いですか。」

→フランス（観光客）、ドイツ（観光客）、イギリス（観光客）、アメリカ（観光客+ビジネスマン）、タイ（観光客+ビジネスマン）、韓国（観光客+ビジネスマン）、中国（観光客+ビジネスマン）、イタリア（観光客）、スペイン（観光客）です。

「ホテル宿泊代はどれ位高くなっていますか。」

→ホテルのクラスにもよりますが値上がり方はばらばらで、あるホテルは50%、あるホテルは100%まで高くなり、50%から100%のあいだです。

「ミャンマーの人々は日本をどのように評価していますか。」

→ビジネス面から見るとしっかりして、ちゃんとお仕事をする国、または日本に任せれば安心して任せられるのだろうと思っている人が多いです。

「これからミャンマーへ観光や経済視察などで来る人にアドバイスをお願いします。」

→どこの国でもいい人もいれば悪い人もいます。自分の利益だけを考えないで自分がこれからお仕事をされる国にてお仕事をうまく出来るためよいパートナーをちゃんと見つけてちゃんと調査して計画を立てればうまくいくと思います。

ウサギと亀の物語のように遅くなるか、どうかは気にしないで焦らないでちゃんと調査して、色々な人の話を聞いて、情報を受け取って最終的に決定という段階で行けば失敗はしないと思います。

Khine Khine Sw カイン カイン スエ

～VEC関西より～

・アベノミクス、デフレ脱却を掲げ、人気上昇中の安倍政権。そのためには中小企業、ことにベンチャーが活気づくことが重要と考えます。ベンチャー成長の具体的なプログラムが示されることを期待します。（本田）

・日々地下鉄で通勤している私にとって久しぶりに電車で揺られながらの1泊旅行を楽しんできました。残念ながら車中からの雪景色は見られませんでした。自然と過ぎていく時間に安らぎを感じ、たまには心のリフレッシュは本当にいいものですね。（濱本）

・工藤教授からは、VECにも多大のご協力を頂きました細川信義氏のご活躍を偲んでのご寄稿があり、釣島様・辻様からは示唆に富んだメッセージを頂き

ました。また最近の海外事情を修さん、カインさんから頂き大変参考になりました。（澤村）

<交流会の予定>

平成25年4月18日（木） イエローストーン・グレーシャー・アドベンチャー 代表 スティーブ・ブラウン氏

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293

2月27日（水）にはVECなど公的支援5機関によるベンチャーとエンゼル・サポーターとの合同交流会が大阪産業創造館で行なわれ、熱い交流がなされました。

**近畿経済産業局における中小企業への支援策****～平成24年度補正予算、平成25年度予算案から～**

本年2月26日に成立した平成24年度補正予算や平成25年度予算案には産業成長のための中小企業支援策が多数盛り込まれています。

近畿経済産業局では今般の支援策について説明会（認定経営革新等支援機関向け）を開催されましたのでその要約をご紹介します。

・詳細につきましては局の各担当課または産業部・創業経営支援課（TEL 06-6966-6014）へお問い合わせ下さい。

・認定経営革新等支援機関とは

「中小企業経営力強化支援法」に基づくもので中小企業の経営力強化を図るため、既存の中小企業支援者、金融機関、税理士・税理士法人等の中小企業の支援事業を行う者のうち、一定レベル以上の方を財務局長及び経済産業局長が認定したもの。中小企業に対して専門性の高い支援事業や中小機構による専門家派遣等を通じ経営力強化を図る役割を担う。

主な支援事業

・ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金

ものづくり中小企業・小規模事業者（町工場等）が実施する試作開発や設備投資等に要する費用の一部を補助。

補助率：補助対象経費の2/3 以内

補助上限額：1,000万円

補助下限額：100万円

お問い合わせ先 近畿経済産業局 ものづくり産業支援室

TEL 06-6966-6022

・地域需要創造型等起業・創業補助金

地域のニーズを的確に把握し独創的なサービスや商品等を新たに提供する事業計画を持つ者に対して、その創業事業費等の一部を補助。

補助率：2/3

補助上限額：内容により200万円、500万円、700万円

お問い合わせ先 近畿経済産業局 創業・経営支援課

TEL 06-6966-6014

・認定支援機関による経営改善計画策定支援事業

中小企業・小規模事業者が行う経営改善計画の策定に対して、認定支援機関が行う支援とフォローアップに係る費用の一部を補助。

補助率：2/3

補助上限額：200万円

お問い合わせ先 近畿経済産業局 中小企業課

TEL 06-6966-6023

・経営支援型セーフティネット貸付

資金繰りに困難を来している中小企業・小規模事業者であって、認定

支援機関等の経営支援を受ける事業者を対象に日本政策金融公庫等が低利融資を行う。

貸付限度額：中小企業事業 7.2億円

国民生活事業 4,800万円

貸付期間：設備資金15年以内、長期運転資金8年以内

お問い合わせ先 近畿経済産業局 中小企業課 TEL 06-6966-6023

・中小企業経営力強化資金

創業又は経営多角化・事業転換等による新たな事業活動への挑戦を行う中小企業・小規模事業者であって、認定支援機関の経営支援を受ける事業者を対象に日本政策金融公庫が低利融資を行う。

貸付限度額：中小企業事業7.2億円（運転資金2.5億円）

国民生活事業7,200万円（運転資金4,800万円）

お問い合わせ先 近畿経済産業局 中小企業課 TEL 06-6966-6023

・海外展開支援事業

・地域力活用市場獲得支援事業

中小企業・小規模事業者の新商品等の開発や国内外の販路開拓を総合的に支援。

・中小企業・小規模事業者海外展開事業化・研修支援事業

中小企業・小規模事業者の海外展開に係る実現可能性調査（F/S調査）、官民の現地機関が連携した現地支援プラットフォームの構築等を行うとともに、中小サービス業等の海外展開を支える現地従業員を育成するために日本で行う研修等を支援。

・中堅・中小・小規模事業者新興国進出支援専門家派遣事業

新興国進出に取り組もうとする中堅・中小・小規模事業者に対し、新興国でのビジネス経験・ノウハウが豊富な企業OB等のシニア人材を派遣。

お問い合わせ先 近畿経済産業局 国際事業課 TEL 06-6966-6032

・商店街の活性化事業

・地域商店街活性化事業

地域の商店街組織が行う集客力向上の取組や需要喚起に効果のあるイベント等を補助。

・商店街まちづくり事業

商店振興組合等が行う地域住民の安心・安全な生活環境を守るための施設・設備の整備を補助。

お問い合わせ先 近畿経済産業局 流通・サービス産業課

TEL 06-6966-6025

記・一財）VEC関西支部 事務局

大阪中之島西地区の活性化

最近、わたしは「NPO法人 くらしと生活環境を守る会」(npokurashi.com)の副理事長となった。

このNPO法人は、8年ほど前に発足され、道頓堀川の浄化対策や大阪湾の藻場づくりの啓発および提案など環境の保全を図る活動を行ってきた。

昨年秋ごろから、ターゲットを替えて、「大阪中之島西地区の活性化」を事業対象とすることになった。

中之島はご存じの通り、「東洋のマンハッタン」と呼ばれ、淀川の土砂が堆積して作られた、堂島川と土佐堀川に挟まれた中州で、大阪のど真ん中にあり、豊臣秀吉さらに江戸時代にかけて「天下の台所」としての水の都大阪の中心地であった。

江戸時代には、約90の藩の蔵屋敷が立ち並び、米その他を集積し、また全国に分散させていったところである。

今年の大阪検定は中之島が主なテーマである。

中之島の東部はバラ園などあり、公園として整備されている。

また中央部は、大阪市役所、中央図書館、中央公会堂、日本銀行大阪支店などが建ち並び、さらに最近完成したフェスティバルホール、これから建替え予定の朝日新聞ビル、さらに市立科学館、国立国際美術館が建ち並び、この北側に大阪市立美術館（元広島藩蔵屋敷跡地）が建つことになっている。

さらに西に行くと、リーガロイヤルホテル、大阪国際会議場があるが、このあたり一帯が空地や駐車場が目立ち、まだまだ開発の余地がある。

縦方向にウメキタからJR福島駅を通って、朝日放送、大阪大学中之島センターとなにわ筋が南北に走っているが、そこに交通機関が通ることになっていて、将来的には活性化の見込みが立っている。

この歴史的にも、また大阪の未来の発展の為にこのエリアの活性化はぜひとも必要なことである。

この地域を活性化させようと言うのが、このNPOの狙いであり、下記の2つの事業を計画している。

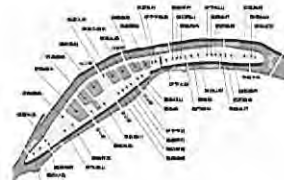
1. ちょうざめなどの古代魚や淀川水系の魚類の観賞のための（仮称）古代魚センターの設立。

2. 江戸時代の中之島に在った蔵屋敷とその文化の再生。

ここで全国の食糧の即売会やオークションなどさまざまなイベントを行う予定だ。

このNPOの主旨にご賛同していただき、みなさまのご尽力とご協賛を期待しております。

株式会社セールス レップ コラボ
代表取締役 堀部武司



<中之島の旧蔵屋敷>



<ちょうざめの観賞用展示の様子>

「映画85作品の舞台になったリーディングホテルと加盟ホテル」

ザ・リーディングホテルズ・オブ・ザ・ワールド：略してLHWという言葉をご存知の方はどこかのホテルでお聞きになったかホテルレセプションでご覧になった方はいらっしゃるでしょうか？

LHWは魅力的なホテルやリゾート、スパなどを取りそろえた430軒以上の世界中の個性あふれるホテルのみが加盟できる組織です。LHWに加盟するのはなかなか難しくこのホテルに加盟していること自体、世界的に認められたホテルである証なのです。たとえばニューヨークでは「ブラザ・アテネ」や「ザ・ビエール」、ホノルルでは「ハレクラニ」「ザ・カハラ」、パリでは「ル・プリストル」「リッツ」「ドゥ・クリヨン」などなど。

日本でこのLHWに加盟が認められているホテルは「ザ・ウィンザーホテル洞爺」「ホテルオークラ」「パレスホテル東京」「帝国ホテル」の4つでしたが最近「帝国ホテル大阪」が加盟を認められました。その「帝国ホテル大阪」で2月18日に「リーディングホテル・オブ・ザ・ワールド」のパーティがあり出席してきましたのでご報告致します。今年のテーマは「映画85作品の舞台になったLHW加盟ホテル」でした。



今年はLHW創立85周年ですが、ハリウッドのアカデミー賞も創立85周年を迎えます。LHW加盟ホテルの多くは旅行好きの人達の心をとらえるだけでなく、長年にわたって映画製作者をも魅了し続けてきました。実際、名作映画の舞台になったホテルにもLHW加盟ホテルが数多く登場します。

旅行と映画の共通点とはいうと、それは私達を感動させる力があるという事だと思います。素晴らしい旅行と同じように映画は私達を別世界へと誘い、新しい人々や文化との出会いの場を提供し、同じ経験を分かち合った人々との間に絆を結んでくれます。魅力的で日常とはかけ離れた世界へと導き、私達の創造力に刺激を与え、ロマンスや冒険心を掻き立ててくれます。

映画と旅行には初めての旅行先に降り立ったり、暗い映画館の銀幕が点滅するのを見たりする時の興奮という点で共通するものがあると思います。

映画の舞台になった数々のLHWホテルを訪ねて宿泊され、ゆったりとホテルライフを楽しむのもまた違った旅のスタイルになるのではないのでしょうか。

どのホテルがどの映画に登場したかは「<http://www.lhw.com/inthemovies/>」をご覧ください。

アズトラベルサービスでは観光地を巡り歩く旅よりはホテルライフや日本の名旅館を楽しむスローな旅やスモールクルーズ、究極の隠れ家リゾートである「アマンリゾート」などをご提案しています。ご興味のある方は是非お問い合わせ下さい。

お問い合わせメールは as-travel@pop16.odn.ne.jp



(ロゴマーク)

アズトラベルサービス株式会社 代表取締役 柴辻 章

As Travel Service Co.,Ltd.

4-5-9, Tanimachi, Chuo-ku, Osaka, Japan 〒540-0012

TEL: 06-6947-7190 FAX: 06-6947-7166 MAIL: as-travel@pop16.odn.ne.jp

VECレポートが行く！

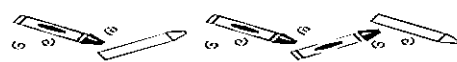
TPP?!

- ・ TPPとは環太平洋戦略的経済連携協定 (Trans-Pacific Partnership) の略との事です。
- ・ 環太平洋 (太平洋の面している国々) での経済協定として2006年に発足。貿易関税については例外品目を認めない形の関税撤廃をめざしている。
- ・ TPP交渉参加国 (日本ほか計12カ国) の経済規模
人口 約8億人 (世界全体の12%) GDP 27兆ドル (世界全体の38%)
- ・ 経済効果など。
農業分野の生産減少、消費・輸出・投資の増加、価格の安い製品が流入 (牛肉・小麦・砂糖など)、乗用車の関税撤廃により輸出競争力増加等々。
- ・ 業界で考えられる影響の一部。
農業・漁業：食料自給率低下、農村等の衰退、輸入農産品値下がり、日本農産品の輸出拡大。
企業：輸出・海外投資拡大、安全基準等の緩和。
医療：混合医療の全面解除、国民皆保険の後退、営利企業の参入。
労働：外国人の雇用拡大、ビザや入管手続きの簡素化。
食：食品添加物や遺伝子組み換え表示等の緩和。

(ホームページ等から)



<シリーズ>



~おもしろい「色」のおはなし~ 春カラーと色彩心理

さあ春到来です。厳しい寒さからやっと解放され身体も心も動き始める季節でもあります。

ファッションも冬はどちらかというと黒めのダークな色目を取り入れることが多かったですが、春は気持ち的にも軽やかな感じになると同時に色目も明るめのパステルカラーや白っぽい色が多くなります。

「色」の世界は奥深く特に色彩心理の世界では何気なく無意識に選んだ色であなたの深層心理がうかがえます。例えば上記の黒色はどんな気持ちでしょうか。心理的に無意識に「黒」が気になる時は何かに対するこだわり、強さがあるときです。又、内に秘めた強さであるので忍耐力を高めご自分の主張を強く表現する心理状態です。

これがコーデイネイトとなると、いつも全体的に黒っぽい色目を選んでしまう傾向の方は、「春」という明るいイメージの季節でもありますし、ポイント的に柔らかめの色を小物使いでアクセントにしたり、同じ黒めでも明るめの黒め(グレー)にしたりするのも若々しい雰囲気になります。

現在年齢を重ねるにつれ体力面の変化とともに「色彩」の世界でも変化があります。人間の幼年期の「純色」から熟年期の「濁色」となり、年齢を重ねるほど普段選ぶ服の色でもくすんだ、暗い色目になりがちです。外出もだんだん億劫になりがちで並行して暗めの色を選んでいくと気分的に落ち込みがちになります。

そういうときこそ意識してでもなるべく明るい色を取り組みましょう。

これから心も楽しく見た目も明るく元気な色を・・・色の変化であなたの魅力をより以上引き出してくれるはずですよ。

色彩心理カウンセラー 濱本 妙子

~VEC関西より~

- ・ TPP参加が決まり海外から安いお米や野菜が入ってくると生産者は何々恐々々々です。でも安いからと言って戦後食べさせられた長細い外米、食べられますか？輸入した千からびた野菜(イメージ)食べられるでしょうか？大丈夫です。豊かな生活は心がけて維持されます。機械など日本の製品の輸出は伸びGDPは上昇します。ベンチャーなら前向きで進みましょう。(本田)
- ・ 全国的に鉄道に新しい風が吹いているようで、鉄道マニアの人達も新旧とも写真を撮ろうとする様子がニュースでよく見られました。列車も豪華になり楽しい旅の工夫が成されているようです。今年は列車で旅行をしたいものです。まずは近鉄特急しまかせに乗って伊勢さんに行きたいです！(藤本)
- ・ 日本経済を支える中小企業の活性化を図るため手厚い関連予算が注入され、積極的に支援がなされそうです。近畿経済産業局での支援体制をご紹介しましたので新年度を迎え事業計画へ是非有効活用されては如何でしょうか。(澤村)

<交流会の予定>

平成25年5月14日(火) 日本政策金融公庫 大阪支店
中小企業事業 総括課長 大川 篤義 様
国民生活事業 大阪創業支援センター所長 土橋 勝利 様

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293



大きな一本の木より、木々が青々と繁る土壌こそ

この「VECてんこもり」の前々号(3月102号)に大阪成蹊大学 マネジメント学部の工藤英男教授が「細川信義先生を偲んで」と題する文を寄せています。私も細川氏(エンゼルキャピタル、エンゼル証券=3月7日にエンゼル総研に社名変更=の創業者・社長、昨年11月18日逝去)が日本の中小・ベンチャー企業支援に残した独自の業績・足跡や、暖かいその人柄を昨年11月29日に自分のブログ「ベンチャー温故知新」に書きましたが、ここでもう一度、細川さんとのお付き合いを振り返ってみたいと思います。

細川さんに初めてお会いしたのは、エンゼル証券を設立した直後の1998年2月で、当時、私がしていた日本工業新聞の連載「起業新時代」の取材で大阪・梅田の本社に行ってお話をうかがいました。その時、奥さんのさわ子さんはじめ皆さんが、学校のクラブ活動のような雰囲気 で元気に仕事をされていたのが強く印象に残っています。

その後、細川さんはエンゼルキャピタルも設立して、関西財界人有志らの出資による「〈志〉ファンド」などをつくり、ベンチャー支援にエネルギーを取り組まれましたが、特に「成功して世界的なお金持ちになる人が一人出るより、精神的にも経済的にも豊かなベンチャー企業経営者を多数輩出できる土壌づくりこそ、日本を活性化する」「大きな一本の木より、木々が青々と繁るジャングルづくりを」という理念を掲げ、「小口でも気持ちのこもった資金」を集めるのを信条にしていました。

この理念・信条に触れるたびに、私はVEC設立当初に社長会座長を務め、今もVECの理事である日本コンピュータ・ダイナミクス(NCD、本社・東京都品川区)の下條武男名誉会長の経営理念・思想も、期せずして同じだなという思いを深くします。

下條氏は1967年3月にNCDを創業。同社は2000年9月にジャスダックに上場し、今ではグループ会社を合わせ、従業員が850人ほどの規模にまで成長しています。しかし下條さんは常に、「規模を競うのではなく、社会に役立つ製品やサービスを開発・提供するのが企業の使命」という理念を実践されています。

下條さんは日本工業新聞の時代から取材していますが、細川さん、下條さん、私の3人で昨年4月27日、「新生VEC記念講演会・パネルディスカッション」の後、細川さんが大阪に帰る新幹線の時間を気にしながら、東京駅八重洲口の店で楽しく懇談したのが思い出されます(写真、右から下條氏、細川氏、私)。

細川さんは石川県・能登の生まれですが、大阪育ち。下條さんは大阪生まれの大阪育ち。ともに大学は数学科というのも共通しますが、日本に「大きな一本の木より、木々が青々と繁る土壌」ができることこそ大切だと私も強く思います(細川さんに合掌)。



ジャーナリスト
(元・日本工業新聞=フジサンケイ ビジネスアイ記者)
松浦 利幸

~日本一明るい経済新聞編集長 竹原信夫氏が NHK大阪放送局より感謝状を受贈されました~

日本一明るい経済新聞の竹原信夫編集長は、3月22日のNHK第88回放送記念日記念式典で、NHK大阪放送局の崎元利樹局長から感謝状を贈呈されました。

平成19年度から6年にわたり、関西で成長する元気な中小企業を発掘し、「おはよう関西」のコーナーにおいて自ら紹介することでNHKの地域放送に大きく貢献された、というのが受賞理由です。

受賞者を代表して、竹原編集長は「元気な会社の社員は褒められて頑張っています。私も今回感謝状をいただき、褒められたのでさらに頑張って、良い番組づくりに貢献したい」とあいさつされました。

おはよう関西は、毎月、日本一明るい経済新聞に掲載された企業を中心に、NHKおはよう関西で午前7時50分過ぎから放映されており、すでに70社を超える元気企業が紹介されています。

これからもさらにご活躍されることを期待しております。

記・一財)VEC関西支部



NHK放送記念日 記念式典での竹原氏ごあいさつ

～地域密着型ベンチャーキャピタルとして「個と個の創発」を促進するシェアオフィスを展開～

膨らんだ蕾が待ちきれずに次々花開き始める桜たちに見守られ、2013年4月1日、今西土地建物（株）とフューチャーベンチャーキャピタル（株）（以下、FVC）が連携したシェアオフィス「share YODOYABASHI deck（大阪市中央区北浜）」がオープンとなりました。

share YODOYABASHI deckはFVCにとっては2つめのシェアオフィスとなります。2011年7月に京都のビジネス街の中心である四条烏丸にて、京都の不動産会社との共同事業として「share KARASUMA」をオープンしました。ベンチャーキャピタルであるFVCがこうしたシェアオフィス事業を展開する理由は、地域密着型ベンチャーキャピタルとして、地域経済の活性化に寄与する起業家や事業家を育むエコシステムを作ることが私達の使命と捉えているためです。

今までもインキュベーション施設は存在しましたが、FVCはIPOを目指す株式会社はもちろん、地域の中堅企業、起業したばかりの起業家までもが同居して価値を生み出す新しい形のインキュベーションオフィスを目指しました。それは「個」と「個」を結ぶ中で、新たな価値を創り出すことでした。シェアオフィスという協働の「場」を提供すると共に、起業家のメンタリングや事業者のマッチングなど個と個に焦点を当て、事業者同士をつなげる中で、全く新しいインキュベーションの役割を果たせるのではないかと考えました。

現在、share KARASUMAは100名を越える会員に利用していただいています。会員は20代から60代まで幅広い年齢層であり、多岐にわたるビジネスを手がけていらっしゃいます。利用者属性が多岐にわたるため、必然的に様々なコラボレーションが生まれ、今では、会員同士の繋がりの中で新たなビジネスが次々と生まれています。こうした会員同士の繋がりが生まれるのも、オープンなオフィス空間の中で気軽に情報交換が出来、同じオフィスを使いお互いの想いを知る仲間だからこそではないでしょうか。

ベンチャーキャピタルはよく「人の交差点」と言われます。今後も、地域経済の活性化を願う事業パートナーと手を取り、「人の交差点のプラットフォーム」となるシェアオフィスを全国に広げていきたいと考えています。そして、各地域のシェアオフィスをつなぎ、地域間を越えた交流を促すことで、個々の事業者により多くの成長機会を提供していきたいと考えています。今後も応援の程、宜しく願いいたします。



フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

新規事業開発部 インキュベーションマネージャー 外山 和恵

～高齢者雇用安定法が改正されます～

ご存知のとおり本年4月1日から施行されました。

主旨は本年4月から公的年金の報酬比例部分の支給開始年齢が段階的に上げられ60才定年以降、無年金・無収入となる人が生じる可能性があることが主な理由のようです。

影響は企業の立場からみてプラス・マイナスがありそうですが、高齢（ベテラン）社員が継続雇用により企業に利益寄与する動機付けの方策や組織体制の見直し等も必要となりそうです。

改正の概要（抜粋）

- ・今回の改正は定年引上げを65才に義務づけられているものではないとの事ですが、希望者全員を雇用する必要があるとの事です。（但、事由によっては継続雇用しないこともできる。またパートや契約社員等の雇用形態にすることはできるようです）
- ・この制度の対象者はグループ企業（親会社・子会社・関連会社）まで拡大される。
- ・この制度を実施していない企業に対して勧告に従わない企業名を公表される。

少子高齢化により国民全員参加型社会の実現が求められている中、この制度があらゆる面で活力を生むことを願っています。尚、詳しくは専門家や担当官庁にご確認下さい。



（資料・HP等）



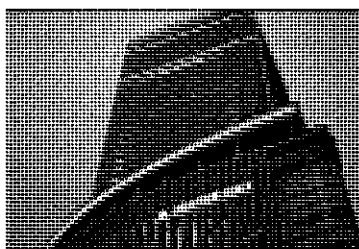
**VECレポーター
うめきた「グランフロント大阪」が開業！**

すでに話題となっています複合ビル群「グランフロント大阪」が4月26日にオープンしました。開業に先立ち施設内を見学することができましたので、その一端を紹介します！

ビルの前に立つと、とにかく巨艦です。三菱地所など12社の企業グループが取得し、総事業費は6000億円規模と言われており、5,000人の雇用を生み出し初年度売上400億円、集客目標2500万人との事です。特色は産官学集積拠点「ナレッジキャピタル」で先端技術の発信や交流の場となります。

商業施設や飲食店などは266店舗でスペースもゆったり感があり、別のビルには英国系高級ホテル「インターコンチネンタルホテル大阪」がオープン。また隣接する高級高層マンション（525戸）はすでに完売らしく、オフィスはこれから順次入居となるそうです。

当日はすごい混雑でありましたが「近畿大学水産研究所」という看板の養殖魚専門料理店の前は長蛇の列。ロート製菓の野菜工場とそのレストラン、リラクゼーションサロンは注目です。日本初や関西初、それに午前4時まで営業する飲食店もあるなど、この開業が関西の元気発信となることを期待しています。



～VEC関西より～

- ・最近、電車に乗ると、約7～8割の人が一心にスマホやっています。横から覗くと、漫画も見れるのですね。私は、電車に乗ると、美人が居るかなあ～とか、桜が散ってしまったなあ～とか、キョロキョロしていますが、スマホばかり見ていると知らないうちに目を悪くしたり、最近の流行とか、わが国の進む方向とか・・・。なんだか音痴になってしまわないか心配です。素晴らしい恋も生まれませんよ！！取り越し苦労でしょうか？（本田）
- ・春到来。郊外の大形ホームセンターへ買い物に行き何気なくガーデニングコーナーの色とりどりの沢山の花々を見ているうちに気がつけば数種類の花を買っており、家の庭に即初心者ガーデニングを始めております。自分が花に対するケアに花も正直にこたえてくれるのが嬉しいことです。色彩には乏しかった庭がこれから花で少しずつ色づいていくのが楽しみです。（濱本）
- ・東京を中心に活躍の松浦利幸様から初めてのご寄稿を賜り、皆様の素晴らしい理念をご紹介いただきました。日本一明るい経済新聞の竹原編集長がNHKから地域放送に多大の貢献をされたことにより感謝状を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。フューチャーベンチャーキャピタル様のシェアオフィスが活用されることを期待します。（澤村）

<交流会の予定>

平成25年6月25日（火） 株式会社日立パワーソリューションズ
（旧株式会社日立エンジニアリング 他）
関西支店長 富山 正夫 様
省エネセンター グループリーダ主任技師 植野 和雄 様

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293

**VEC関西から、新しいベンチャーを立ち上げよう！**

先日、新聞情報によれば、日本長者番付ベストスリーは

1. 柳井 正 ユニクロ
2. 孫 正義 ソフトバンク
3. 三木谷 浩史 楽天

三人とも若く、この10年ほどの間に、上り詰めた有名人です。

メーカーではなく主に販売システムで長者の地位を射止めました。いま、世界は数百年に一度と言う大転換期に差し掛かっています。今まで、長く続いた、商品や販売システムがスマホなどの携帯端末などを使って、根底から変わってきました。地下鉄に乗っても、乗客の7割の人が、携帯端末を見ながら、なにやら操作しています。

日本を始め先進国は成熟段階に入り、経済の重心は中国やインド以下のアジアの新興国に移りそれに伴い排気ガスのNOxやSOx、PM2など有害物質が地球環境を破壊しつつあります。

このような問題は、国が規制をしながら、制度や技術開発を促進しなければなりません、ビジネスとしても色々なアイデアが求められます。

私が兼ねてから言っているように、世の中の変化がベンチャーを創る！そうです！今この瞬間でも、新しい需要をシーズにベンチャーが生まれています。

新しい需要とは何でしょうか？まさに、始めに上げました若き長者たちが、時代の変化に着目し需要を創り出しました。

ベンチャービジネスが生まれるのはこの世のちょっとした歪、不合理、それに技術開発、其れがシーズになります。

例えば今回の三陸沖の大地震による復旧需要、今人手不足で、工事が進まないそうです。

少子高齢化？水環境の悪化を解決する飲料水ビジネス？そんな大きなビジネスを真正面からベンチャーは取り組みれば必ず失敗します。第一お金が続きません。

やはり、ベンチャーは“もの”よりサービスです。ハードよりソフトです。

新しいサービスを目差し、今ちょっとした不便を感じる、それを如何に解決すればよいか、日々のちょっとしたアイデアが、新しいベンチャーを生みます。

今、VEC関西が毎月開催している交流会も始めて30年以上にもなりますが幾つかのベンチャーが生まれて、そして消えてゆきました。ベンチャーは一人では出来ません。いろいろなネットワークを利用しながら、アイデアを立派なビジネスに醸成してゆくのです。先ず自分一人でやってみて、儲けながら、勉強しながら一歩一歩売り上げを増やしてゆきます。会社の成長と共に、経営者の人間としての成長が同期したとき、大きく発展します。頭書にご紹介した、わが国の長者たちも、全て、一からビジネスを構築して、育て上げたネットワーク人間です。

VEC関西からベンチャーの勇を数社はぐくみ育てたいものです。どうか、新事業に関する何でも結構ですから、ご相談いただきたいと思ひます。応援します。



一財) ベンチャーエンタープライズセンター
理事・関西支部長 本田 英行

「アジアでご活躍中のシニアベンチャー！」

インドネシアのロンボク島で長年ゴルフ場経営をされ、地域発展等にも尽力されているパワフルな牛田代表から開業から現在までと、これからの夢などについて熱く語って頂きました。



Q. 牛田代表の年齢とご出身地をお願いします。

A. 京都府与謝郡与謝野町三河内1689 75歳

Q. ゴルフ場の名称や面積、ホール数などの概要とオープンされた時期をお教え下さい。

A. リンジャンカントリークラブ 80ヘクタール 18ホール 1991年 11月 オープン

Q. ロンボク島に開業されたのは、まさにベンチャーですが、どのような動機からですか。

A. 我々の地方の産業不況と今後の年老いた人生の楽しい過ごし方の有り方について、地元の銀行や有志の意思に依りスタートしました。

Q. 今まで地域発展や若者の支援等にも尽力されて来られたと伺っておりますが、主な事例をご紹介下さい。

A. 植林事業、絵画展、日本人会の開催等。

Q. ロンボク島の魅力をいくつかご披露下さい。

A. 天候が凄く良く、暖かいときで28℃、寒い朝で20℃です。リンジャン山に湖があり、乾季でも水に不自由はしません。米は年3回獲れ、海は凄く良いです。

Q. これからどのような夢や計画にチャレンジされる予定ですか。

A. 私は年を取りましたが、この国は子供が多く、日本は子供が少ないので人的交流を計画すれば良いと思ひます。

Q. 関西や日本の皆様へメッセージをお願い致します。

A. 天候に恵まれた素晴らしい土地ですので、色々な計画を持って来て頂ければ感謝します。

・ロンボク島

バリ島から東へ空路で約45分の島。第二のバリ島と言われ島本来の素朴な雰囲気が漂う。人口は約280万人。

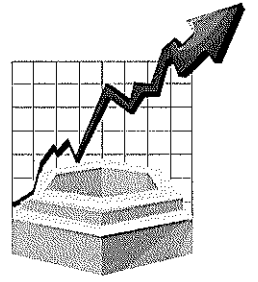
・インドネシア

人口約2億4千万人を有し、1万数千もの島々によって構成されている。ASEANの加盟国として経済発展中でイスラム教が90%近いと言われている。日本企業の進出も多く、市内は日本製の車とバイクがいっぱい。



「オフィス・ヨシオカ株式会社の事業取組みについて」

弊社は中小零細企業様の事業サポートを目的に発足いたしました。日本経済は今年に入りアベノミクスによる上昇気運が盛り上がっていますが、実態経済には不安を感じている方が多いようです。大企業は力強く海外展開し、国家予算の支援を受けて元気を取り戻しつつあるようですが、全法人の90%以上を占める中小零細企業は海外進出もままならず、又、資金繰りも改善されずという現実の中で四苦八苦が続いているというのが現状です。この現状を打破するには①日本発の新しいビジネスモデルの提案②中国を中心にアジア圏マーケット進出をサポート③国内マーケットの創出が重要と考えて取り組んでいます。以下にその概要を記させていただきます。



①日本発のビジネスモデル⇒循環型ビジネス（分かち合い結合しあうビジネス） 現在のビジネスモデルは、明治以降人口の急激な増加をベースに確立された欧米型ビジネスモデルです。日本は少子高齢化の最先端国としてここ100年間人口減少（1億2000万⇒4000万代）が続くことが予想されます。この人口減少が始まっているのはドイツ・ロシアと日本だけ。その中でも日本が群を抜いてスピードが速いのです。マーケット減少を前提条件とした日本型ビジネスモデルとして循環型ビジネスモデルを提案しています。

②海外進出サポート⇒「アジア貿易相談センター」の設立 目前にTPPの実施が現実化してきました。ピンチをチャンスに変える千載一遇の好機と考え積極的な取り組みを提案しています。隣国の中国、韓国とも領土問題等政治問題は多々有りますが、しかし、ビジネス面ではお互いが必要としあっているわけです。大企業は豊富な情報・人脈・資金を駆使して積極的な戦略展開をしているのですが、反面、私たち中小零細は情報・人脈・資金が無く取り残されています。弊社では「アジア貿易相談センター」（仮称）を設立する構想を持ち準備に入りました。大企業系や政府系、またボランティア団体等多くの機関がありますが、中小零細企業のための民間団体として、痒いところにも手の届くようなビジネスサポートを実現したいと考えています。

③国内マーケットの創出⇒ クライアントからのご相談を色々とお伺いしますが、何と言っても一番多いのは販路の開拓です。効率的なサポートを実現するためにマーケット創出を最優先に取り組んでいます。

B2B⇒大企業、中堅企業へのルートを中心にマーケット拡大。中小零細企業のグループ化等に取り組む中。

B2C⇒女性。アクティブシニア。学生等のクローズマーケットを構築中

B2E⇒大企業、中堅企業の職域販売マーケットを創出中

以上微力ながら渾身の力を振り絞って頑張っています。何なりとお気軽にご相談下さい。

オフィス・ヨシオカ株式会社 代表取締役 吉岡政彦

「大阪を漫画で楽しく活気づけたい！」

初めまして、3月からVECに参加させていただいております漫画家の筑濱と申します。筑濱カズコというペンネームで、妻と二人で漫画を描いております。現在絵本のようなオールカラーの単行本「SHIRITORI」が全国の書店、アマゾンなどで絶賛発売中です。この漫画は文化庁メディア芸術祭で受賞したのをきっかけに編集者の目にとまり書籍化されました。

昔は漫画の単行本を全国出版したいと思ったら、荷物をまとめて東京にアパートを借りるのが当たり前でした。今ではパソコンで描いたマンガのデータをメールで送るだけで本が作れますから、大阪にいても漫画の仕事ができるようになりました。また漫画の読者も子供だけというより、大人まで幅広い層になりました。漫画家の環境もおおいに変化しました。

漫画の発表の場所も多様化しています。新聞、雑誌はもとより、WEBやチラシ、看板、パンフレット、スマートフォンまでコミュニケーションツールとして活用されるようになりました。漫画というコンテンツはもはや物語を伝えるための道具ではありません。

そこで、私は漫画コンテンツのポテンシャルをさらにひろげて、新しいことができないかと考えました。その一つが、街角漫画です。街角漫画とは、街角の物語や歴史をガイドする案内板です。漫画には吹き出しという便利なものがあります。その街のランドマークを擬人化し、吹き出しに台詞書き込めば、その街の物語を楽しく親しみやすく知ることができます。絵なので、子供にも海外からいらした観光客にもアピールできます。さらに街角漫画をお地蔵さんのように、色んな場所に置くと、回遊性が高まり、いつもの街角が非日常化します。街が楽しい漫画の本の世界になってしまうのです。

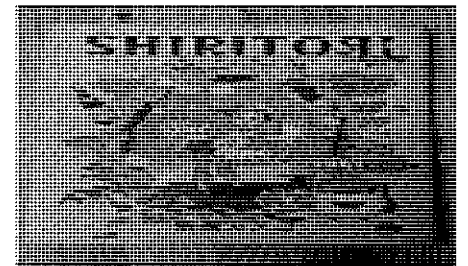
このようなアイデアにとどまらず、漫画コンテンツのポテンシャルは、まだまだ無限に広がると私は考えております。漫画を使ってこんなことはできないだろうかという方がいらっしゃいましたら、是非お気軽にお声をかけて下さいましたら幸いです。最後まで読んでいただきありがとうございました。

筑濱プロダクション 漫画家・イベント企画 筑濱 健一

イベント業務管理者 登録番号050082

〒530-0042大阪市北区天満橋3丁目3番5号 天満インキュベーションラボ403号室

Tel. 090-1447-0859 Fax. 06-6387-6905メール：chikuhama@gmail.com ホームページ：http://www.chikuhama.com/



単行本「SHIRITORI」

～VEC関西より～

・てんこもり5月号で、電車の中で7割の人がスマホを見ていると悪口を書きましたが、実は私もスマホを購入しました。機能が多すぎるためか、取扱いが解らず、暇な電車の中でスマホとにらめっこすることに・・・ごめんなさい！（本田）

・グランフロント大阪がオープンして1ヶ月過ぎました。予想を上回る大人気！大混雑！東京から友人が来たときにランチでも・・・と思ったのが大間違いでした。いろいろ情報を集めて再チャレンジしたいと思っています。（藤本）

・75才で今も現役の牛田代表から、インドネシア・ロンボク島でのビジネスやご活躍振りのメッセージをいただきました。機会ありましたら是非現地視察やゴルフをされ、直接薫陶を得られてはいかがでしょうか。（澤村）

<交流会の予定>

平成25年7月8日（月） ドイツ プレーメン在住

アブレウ ジュゼッペ・聖子 ご夫妻

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293



～創業152年のジュエリー老舗企業～ 株式会社今与 代表取締役社長今西信隆氏の講演から～

先般ベンチャー支援機関の天満インキュベーションラボ（運営・有限会社かほり堂）にて6代目今西代表の講演が開催され「創業からの変遷や老舗企業としての企業理念、グローバル化・イノベーション」などについて熱く語られましたので、その一部をご紹介します。なお、さらに詳しい内容は先代である5代目当主と永年の付き合いがありましたVEC関西支部本田支部長へご連絡下さい！

- ◆お話しの中から152年間事業継続されている理由を考えてみました。
 - ・創業者の思いである「おもしろのはなごかり」を企業理念として大事にし、代々継承されてきた。
 - ※「おもしろのはなごかり」とは創業から戦前まで使われていた符丁（ふちょう）で、社内向けの数字の暗号のようなもの。0～9の数字がそれぞれの文字に置き換わっている。言葉の意味としては心楽しめるもの、風流なもの、おもしろいものを取り揃え、おもしろい空間やコトも演出して行く事を表している。
 - ・歴代当主がその時代における変化に対処した事業を行ない、困難を乗り越えながら先代の課題も継承し次代へつないだ。
 - ・現代表、先代もそうであるように、いわゆる「他人の飯を食う」ことにより色々な経験を積むことができた。
 - ・海外進出を早くから手がけチャレンジ精神があった。
 - ※1972年（昭和47年）にシンガポール進出。
 - ※ダイヤモンドの4大トレードセンターはアントワープ（ベルギー）・ムンバイ（インド）テルアビブ（イスラエル）・ニューヨーク（アメリカ）
 - ・京都という場所に本社があったので、文化や伝統、歴史などの好影響を受けた。
 - ・「着飾る」という人間が本来持っている本質を事業としてやってきた。
 - ・職人を大切に「100年基準の商品を作っている」というモノ作りの気概を代々の職人が守り続けている。 等々

◆企業沿革（抜粋）

- ・1861年（文久元年） 初代今西與兵衛により、京都五条堺町に小問物問屋として創業。
- ・明治から大正時代 大正ロマネスクの時代、徐々に洋装にあう装飾品、小問物、も取り扱うようになってまいりました。とはいえ、あくまでメインは和装小問物であり、珊瑚、亀甲、翡翠を扱い始めておりましたが、いわゆる宝飾品はもう少し先、戦前頃から少しずつと思います。

- ・昭和の高度成長期 石の海外での買い付けから指輪やネックレスのデザイン・製造・卸・販売まで一貫して行ない発展。
- ・平成の時代 時代の変化を取り入れながら世代を超えて受け継げる本物の輝きを、日本全国・世界へ発信を続ける。
- ・1972年～1991年 シンガポール、クアラルンプール、バンコクに進出。
- ・2011年6月 現代表6代目就任（入社は2003年10月）コーポレート・シンボル等を刷新。

◆業務内容

本社 京都市中京区烏丸通竹屋町上ル大倉町218

TEL：075-211-5141

- ・ダイヤモンド・天然石及び宝飾品の輸出入、企画開発及び製造。
- ・同卸売り、小売り、各種イベント、展示会等の遂行。
- ・オリジナルブランドの開発・販売。

◆今西信隆氏のプロフィール

昭和44年京都市生まれ。

平成5年3月 東京大学経済学部経済学科卒業後、
同年 株式会社日本興業銀行入行。

平成15年10月 当社入社。

平成23年6月 当社代表に就任。

◆未来へ向って（要約）

- ・これまでの歴史と創業の原点を大切にしながら「SHINING HERITAGE～今に、未来に、輝きを与える～」をモットーにその達人になる。
- ・BtoBにBtoCを加え海外・国内のエンドユーザー向けも強化し商品開発を展開。
- ・時代の変化に対応し柔軟な発想で、もがきながらも創業者の思いを継承して少しでも皆様のお役に立って行きたい。

以上



株式会社 今与
代表取締役社長 今西 信隆

記・VEC関西支部事務局

～下條日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社(NCD) 名誉会長を囲む会～が盛大に開催されました!!

発起人の方々のお世話により5月30日（木）、東京・築地のJJK（全国情報サービス産業厚生年金基金）会館で開催され、2010年に下條氏が発刊された「楽しくダイナミックに！」（日刊工業新聞社刊）のタイトル通りの会となり、100名を超える参加がありました。



下條氏はベンチャービジネスという言葉もない1967年3月に日本の独立系ソフトウェア開発会社の嚆矢としてNCDを創業。

2000年9月にはジャスダックに上場を果たし、その一方でベン

チャー分野の育成やVEC理事としても多大な尽力をされました。

今後はNCD本社近くに開設されている庵「都会の森小屋（T. Room）」を開放されてベンチャー企業が集まる場所にしようと呼びかけられておられます。

ごあいさつとして発起人代表の中上崇氏（一社・日本開発工学会会長等）及び、平尾光司氏（昭和女子大学理事長等）から、来賓として清成忠男氏（元 法政大学総長等）から熱いメッセージがありました。

またVEC本田関西支部長からは関西の参加者を代表して中締め音頭があり、有意義な囲む会となりました。

記・VEC関西支部事務局

尚、会の様子は松浦利幸氏・ジャーナリスト 元日本工業新聞（フジサンケイビジネスアイ）記者のブログ「ベンチャー温故知新」（5月31日掲載の記事）に詳しく書かれています。

応用化学分野の研究で21世紀の世界をリード!



大阪府立大学大学院の応用化学分野で産官学の連携を目指し研究成果の実現に取り組んでおられる 工学研究科 准教授の遠藤達郎氏からそのテーマや今後の目標などについて概要をお伺いしました。研究がベンチャー企業等の発展に役立つことも大いに期待しております。詳しくは9月の交流会でご講演頂く予定です!

Q: 応用化学分野では具体的にどのような研究に取り組んでおられるのですか。

A: 研究室ではナノテクノロジーを基本技術としたデバイスの開発とその応用に関する研究を行っています。現在は、主に医療や創薬への応用を指向したデバイスの開発と研究を行っています。

Q: この分野の研究をされることになられた動機は何でありましたか。

A: 私の出身学科は電気工学科で、卒業研究は情報工学の研究室に入ることを考えていました。しかし講義は難しく、挫折していたところ、半導体微細加工技術を用いたセンサーの研究室を知りました。研究室を見学させていただいたところ、SF映画「ミクロの決死圏」「インナースペース」のような夢があり、魅力を感じ、センサーの研究を始めるきっかけとなりました。

Q: 研究成果を企業との連携に活用されている事例はどのようなものですか。

A: 現在、神奈川県の本ベンチャー企業SCIVAX (サイヴァクス) 株式会社と連携し、安価・量産可能な樹脂製ナノデバイスの作製とその応用・実用化を目指した研究開発を進めています。また、材料・計測機器等企業との連携も進めていけるよう、研究開発を進めています。

Q: 企業が大学との連携をされる場合の留意点など企業へのメッセージをお願いします。

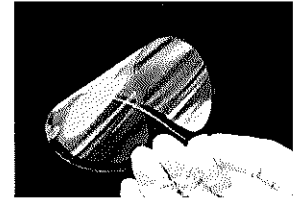
A: 大学は敷居が高いと感じられる方が多いかと思えます。いきなりお話しをしたい先生がいらっしゃる場合は別ですが、多くの大学は企業の技術相談など対応してくれる窓口があります。まずは、気軽に窓口へ相談してみるのが良いかと思えます。窓口には企業を定年退職されたコーディネーターなど、幅広く知識を持った方々が対応してくれるはずです。

Q: 力を入れて取り組まれているこれからの新物質、新素材などの研究分野はどのようなものですか。

A: 既存の材料へ新しい機能を付加した素材を作っていきたいと考えています。材料はそれぞれ異なる物性・機能を持っています。そこへ異なる物理的・化学的機能を付加させることで、これまで利用されていた分野とはまったく異なる応用展開が期待できます。私たちはこれをナノデバイス開発・応用へと展開させていきたいと考えています。

Q: 最後に、これからの研究目標や夢につまましてお伺いします。

A: 「ナノテクノロジー」と聞くと、最先端、とっつきにくいという印象を持たれるかもしれませんが、しかし、ウイルスやステンドグラスの色材などナノテクノロジーは身近なものです。私たちは、これからナノテクノロジーをより身近なものにし、携帯電話やコンピューターのよう生活必需品の中に組み込まれるようになることが夢です。



開発中のデバイス



研究中の学生さん達。後列右端が遠藤准教授

～東日本大震災の被災地復興を願って～ 100万円の使い道アイデア企画を大募集されています!

先日の交流会でもヒール・ザ・ワールド(東洋医学サロン SHANTI内)さんから発表されていますが、2年間にわたって大阪で開催された東日本大地震チャリティイベント「癒しフェア」において協力者の皆さんよりお預りしたお金を被災地復興のために有意義に使っていただきたい、との思いから「集まった100万円を復興に寄与できるアイデア企画」を募集されています。

<募集概要>

詳しくはホームページ <http://htw100jimdo.com/> をご覧下さい。

・応募期間 平成25年8月1日(木)～9月30日(月)まで

・最終選考 11月27日(水)予定

・審査のポイント

被災地復興に寄与するもので、「人々の癒しにつながる」「将来にわたって継続性のある」内容であること。

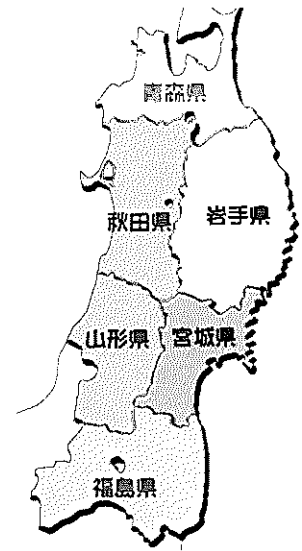
・応募資格 制限はありません。関西の方も可能です。

・申込み・お問い合わせ先

住所: 〒541-0044 大阪市中央区伏見町2-6-2 ネット伏見町201号室

東洋医学サロン SHANTI内「ヒール・ザ・ワールド」宛

Mail: hisaichi.niyashi@gmail.com TEL: 06-6458-5814



～VEC関西より～

・遠藤先生は産官学の連携を目指し応用化学の分野でご活躍。わが澤村局長が難しいテーマでしどろもどろのインタビューご苦労様でした。目に見えるような対談でした! 遠藤先生の父上は経済産業省(当時通産省)の新規産業室に在籍のときVEC設立にご尽力頂いた大恩人です。今は(6月)、沖縄電力で常務取締役としてご活躍いただいています。(株)今与の社長、信隆氏は幼少の頃より知っていますが今はジュエリーの会社を立派に引き継がれ心よりご発展を祈ります。(本田)

・GWの大型連休も過ぎ、少しひと段落した頃に三重県へ行ってきました。伊勢方面でしたので以前から一度乗車したかった、話題の観光特急「しまかぜ」に大阪難波駅から乗車。気分はワクワク。専属接客係の女性が笑顔でのお出迎え、全席本皮ゆったりシート。せっかく乗車したのだから車内をウロウロ。特に

カフェ車両がありロマンスシートでなく全席窓側に向って外を眺めながら伊勢・地ビールを飲んだのも格別でした。最後は乗客全員に記念乗車証もいただきあっという間に目的駅に着いてしまい、無心楽しんだ時間でした。(濱本)

・7月はVEC設立月(昭和50年7月1日)でありますので設立時の精神を忘れることなく尽力して行きたいと思っています。今月号は若きエース世代の方々から熱いメッセージを頂きました。そしてVEC理事でNCD名誉会長下條氏の「楽しくダイナミックに!」を日々心掛けて行きたいと思っています。(澤村)

<交流会の予定>

8月は例年どおり開催はございません。

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293



— あざなう網が福を呼ぶ

那覇の大綱挽にめんそ〜れ〜(いらっしやい)〜

暑い日がまだまだ続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。4月より沖縄科学技術大学院大学から、沖縄・奄美諸島の地域振興をお手伝いしている(一財)南西地域産業活性化センター(NIAC)に移りました、沖縄在住の城間保です。

他府県と同じく沖縄県でも多くの起業家たちが、イノベーションを起こすベンチャー企業となるべく、日夜、試行錯誤や市場開拓に励んでおります。

ところで今回は、「ぼちぼち秋の旅行先を検討しようかな」とお考えの方に、10月13日に開催予定の「那覇大綱挽」のご紹介したいと思います。「引き」でなく、「挽き」なのは、その綱のひかれる様が擬音として「挽き」に近いので、この字が当てられたのかと思っています。五穀豊穡、子孫繁栄的な意味をもつ大綱は、女綱・男綱を頭貫(かぬち)棒で結合した全長200m、直径約1.6m、重量約43トンと、世界一の米藁綱として毎年自己ギネスを更新しています。国道を一部規制して挽き場所をしつらえ、総観衆約28万人のうち約1万5千人余の挽き手(主催者側発表)が、東西に分かれ30分かけて戦います。綱を挽きたい方はどなたでも参加OKで、服装も自由です。「オーエス、オーエス」の掛け声でなく、「ハ〜イ〜ヤッ、ハ〜イ〜ヤッ」と地元の言葉で挽いてください。ですが、綱の重さ・大きさゆえ、最初は動いているのかどうかわかりません。綱の上には挽き方の指南役もおりますが、さながら大型車の誘導係です。勝敗の判定・カチャーシー(踊り)でフィナーレを迎えた綱は、すぐに厄払いや商売繁盛等の縁起物に早変わり。うれしいことに持ち帰ることができます。もらえる綱のサイズも腰に巻きつける縄タイプから、たすきのように肩にかける大型のものまでそろっています。持ち帰った綱を店の入り口(写真)に結んで、商売繁盛のお守りとして使う経営者の方も多数いらっしやいます。

また、綱挽き開始前に旗頭(はたがしら)(後述)を持つ男たちは、独特の服「むむぬちはんたー」(股引半套)を装い、旗頭の見得切り(飾りつけをした40~50kgもあるのぼり旗を一人で持ち上げ、上下に乱舞させる)をメインストリートの国際通りで行うので、それらを見て楽しんだり、綱挽き会場では、東西に分かれて沖縄の歴史上の人物に扮した演者や空手の演武者による見得の切りあいも見て楽しめます。

「いや〜、行くなら今でしょ。」という方には、直近で申し訳ないのですが、「一万人のエイサー踊り隊」のイベントが8月4日に国際通りで開催予定です。エイサーは、近畿一円でも見たことがあるかと思われまので割愛いたしますが、現代風にアレンジされたダイナミックな動きが見る者を魅了し、太鼓から繰り出される力強い音が胸に響きます。当日はエイサーのほかに、琉球古典芸能、大道芸等も行われ、まつりを盛り上げます。



「沖縄の守り神 シーサー」



「縁起物の挽き綱」

(一財)南西地域産業活性化センター(NIAC)
研究員 城間保

~アジアトピックス~

株式会社フジキン ベトナム新工場の操業を開始
(同社のNews Releaseから)

精密バルブ・流体(ながれ)制御システム最大手のフジキン(代表執行役社長兼COO野島新也)は、ベトナム北部のバクニン省で進めてきた新工場の建設を竣工し、本格操業を開始する運びとなりました。

新工場はベトナム・シンガポール工業団地(VSIP)に位置し、敷地面積103,066㎡、鉄筋コンクリート構造二階建て(一部三階建て)、建屋面積7,050㎡、延べ床面積9,371㎡の規模。昨年9月に着工し建設を進めてきたもので、設計・調達・建設は日揮様のベトナム法人、JGCベトナム様が担当。総投資額は約25億円となりました。

新工場では主に工業用精密バルブ、継手の製造とユニット関連の開発、製造を行うとともに水浄化装置、遠隔医療ソフト、医療機器、食品関連機器といったライフサイエンス関連事業の立上げも視野に入れています。

立上げ時の従業員数は50人。業容の拡大に伴ない順次、増員して参ります。

フジキンはベトナム・ハノイ市のタンロン工業団地にクリーンルームを備えた工場を持ち、半導体やエレクトロニクス向

けのバルブや継手などを生産しています。また2011年4月には、ベトナムで拡大する発電所建設や石油関連プラント市場に対応するため、貿易商社のライセンスを取得し、ハノイにビナ・ワールド・リンク社を設立しています。今回の新工場はベトナムでは三番目の拠点となりますが、これによりアジアでの販路拡大を一気に加速していく考えです。

◆ 新工場の概要

FUJIKIN INCORPORATED (BAC NINH)

社長 川端 章夫

No.14, Street8, VSIP Bac Ninh,

Tu Son Town, Bac Ninh

Province, Vietnam,

・Tel +84 241 3765 371

・Fax +84 241 3765 372



<ベトナム・バクニン工場>

・竣工式は5月25日にバクニン工場で行なわれ政府関係者など約100人近い皆様が出席され、当社小川会長、野島社長ほか幹部の方々「アジアものづくり共有体の中心として最適のベトナム」の竣工を祝われたとの事です。

<保育ジジイの日本経済入門>



「前号の続きを・・・」「ハ～イ!」。年に一回の誓いを反故に!

「付け焼刃の場当たり経済政策は、暴走族のドリフト走行」(2月号=2012.12.26記)と酷評、残念ながら当たってしまった。わずか数カ月。あっけなかった。したり顔で解説する意地悪さはない。ただ一言。緩和、カンワと貨幣を切下げ(実質的な為替操作)、バブルを「デフレ脱却」と称し、国債の安定消化(薄氷)をブチ壊すなど金融市場を動揺させ、海外ヘッジファンドなどに暴利を提供した罪は重い。それ以上の解説は、浜矩子、小幡績(元財務官僚)、藻谷浩介など気鋭のエコノミストにお任せ。

悲観論一色ではなく、違う視点から。ここ数年の「てんこもり」の再掲、再々掲になります。ご容赦ください。まず日本の現状から。人口の減少、高齢化、狭い国土と過密、資源の乏しさ、台風と地震の多さ等々。そんな地理・環境の中で、教育水準が高く、豊饒な伝統と文化を持った勤勉な人たちが暮らしています。

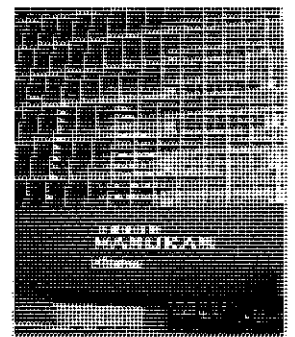
前号で紹介。日本の海外資産は630兆円、借金を差し引いた対外「純資産」は258兆円(2012年6月末)と断トツの世界一。また生産に直結している直接投資残高は74兆8,280億円、製造業は35兆8,877億円、その果実(利息・配当収入)は3兆4947億円(平成22年度)です。また経済産業省の2012年企業活動基本調査によれば、資本金3千万円・従業員数50人以上の製造業のうち、四分の一(25.6%)が海外子会社を有しています。大企業や関連企業は十分な財政ストックと製造拠点を持っています。このうえ「投資減税」が必要なのでしょうか?大企業中心の経済政策は方向転換が必要です。ダウンサイジングは必至。業界の統合・再編はさらに加速するでしょう。

これから人口減、とくに労働人口が大幅に減少します。手始めに郵便の配達、駅の窓口業務などすべて女性に任せては?業務の効率が優れているのは、子供を持った女性社員とか。TVで紹介されました。確か三菱ケミカルHの人事部長だったかと?警察署内に託児所設置を検討?インターネットに流れ、目を疑いました。真偽はともかく、経験豊かな女性警官の退職が大きな課題のようです。日本生命、男性社員の育休、全員取得の方針(6月19日付の毎日新聞)。いいですね。出産・育児のハンディを社会全体で考慮しましょう。老人の技術や経験も大切に。差別主義者の愚行を許している社会では、移民も受け入れも難しい。通称名を強いられている在日の人達、ハンディを負った人も大事にしないで。貧困で進学の機会を失くしている子供たちの存在も社会の大きな損失。今、働かせる側の意識改革が求められています。(2013・6・19記) <次号につづく>

羽世田 鉦四郎(元ベンチャーキャピタリスト)

VECレポーターが行く! ～あべのハルカス・先行オープン～

近畿日本鉄道が開発し、総投資額が1,300億円と言われている地上300メートル、ビルとして日本一の高さを誇る「あべのハルカス」。



<あべのハルカス>

来春のグランドオープンに先行して、近鉄百貨店タワー館が6月13日(木)に開店しました。

今回も「NEW」というものには、まず現地へアタックということで、60階建てのビルを仰ぎながら開店当日、店内へ潜入。

時間が夕方ということもあるのか超混雑を想定していたものの、意外と店内移動はスムーズ。敷地の4分の1を非物販スペースにして「日本一滞在時間が長い百貨店」を目指すのがコンセプトらしく、そのあらわれかも知れない。

また日本最大級というレストラン街は12階、13階、14階に跨がっていて全部廻るのに大変!

ようやく自然食ビュッフェで今話題の「モクモク直営農場レストラン」に在り付くが、店内はすでに満席状態。

6階、7階にはNPOや市民活動団体と地域との関わりを推進する狙いで、縁活(えんかつ)フロアを設けて百貨店が地域密着化の企画。

来春の全館開業時には「阪南大学、大阪芸術大学、四天王寺大学、大阪大谷大学の4大学キャンパス」、「美術館」、「展望台」、「大阪マリOTT都ホテル」、「オフィスフロア」なども出揃い、大阪南部、天王寺地区の発展にも寄与することが期待されている。

その後、入館者は予想以上に多いらしいが、この記事が掲載される8月にはどのような状況になっているのか再度アタックしたいものです。



<モクモク直営農場 レストラン>

記・VEC関西支部 事務局

～VEC関西より～

・羽世田氏のご指摘通りこれからの人口減、特に労働人口が大幅に減少するでしょう。其れにもかかわらずグランフロント大阪、阿倍野ハルカスなど大型ビルが続々開業。覗いてみると開業間もないのに人はまばら。人の懐の心配しても仕方ありませんが、やはりこちらの懐にも廻りまわって響いてきます。ビルのテナントに入るよりもっとアイデア出してベンチャーをどんどん立ち上げましょう。(本田)

・「あべのハルカス」先行オープンより1ヵ月が過ぎ、どんな状況かなあ～と、友人と行ってきました。平日にも関わらず思ったより人が多かったので上記モクモクは30組待ち・・・あきらめました。これから夏休みに突入!梅田には負けますが、あべの界隈も賑わって行って欲しいものです。(藤本)

・城間様は関西赴任から沖縄へ戻られ、地域振興に尽力されています。フジキン様は将来を展望してベトナムでの拠点を増加し、アジア戦略を加速されています。羽世田様から今回も鋭い切り口で今の経済状況について分析をされています。皆様今月も猛暑の中メッセージ有難うございました。(澤村)

<交流会の予定>

平成25年9月2日(月) 大阪府立大学大学院工学研究科
准教授・博士 遠藤 達郎 様



『ベンチャーの手本『空気カー』、

脳裏に残るF1設計者の気概、印象的なタタの支援』

ベンチャー企業は変わった発想が命である。これで思い出されるものは様々あるが、電池を持たなくても車が走る空気自動車というのは今でも頭から離れない、究極の空気カーと言っている。

発火源となるガソリン類も電池もまったく内臓しない。排気管から出るのは完全無害のガス。それでいて容量90立方メートルの空気タンクを圧縮空気で満タンにしておくと100キロメートルは走ることができる。動かすのは排気量900ccの4気筒エンジン。このエンジンのピストンを圧縮空気が作動させる。この空気カーの大きな特徴は、自分で空気を圧縮・注入できること。圧縮空気スタンドなんてあるわけないから、自分の車に圧縮装置を備えている。

それにこの空気カーが頭を離れない理由がもうひとつある。それはインドのタタ自動車が絡んでいることだ。インドの国民車として1台30万円代の超低コスト車を提供しているあのタタ自動車である。

実はこの空気カーは、F1レース・カーなどの設計・製作を手掛けていたフランスのギー・ネグルが発想。彼が1991年、ニースに設立していたMDI社で開発が進められた。圧縮空気を原動力として走る空気カーは有害廃棄を一切出さず、都市内などを走るのはまさに最適だからだ。

だが問題は開発資金。そこに1991年、この車の斬新性を聞きつけたタタが現れ、東アジアの販売数を担保にバックアップに乗り出した。2008年、ニューヨークでのモーター・ショーを覗いた人々は大いに驚いた。空気カー「ワンキヤット」が展示されていたからである。量産販売予定価格の1台3500ドルが目をつけた。タタは価格の高いガソリンや有害な排出ガスからの脱出を懸命に考えていた。

空気カーはまさにこの答えに最適であった。今でも電池で走る電気自動車（EV）の一般的な航続距離は100キロ程度。空気カーとあまり変わらない。それでいてEV価格の7割以上も占める高価なリチウム・イオン電池は全くないから安く安全。

その後あまりワンキヤットの噂が耳に入ってこないが、ベンチャーの雄ワンキヤットは健在なのだろうか。



多摩大学名誉教授 那野比古

授業風景：「新日鉄住金」への貸出金

元金融マンの小職は、今大学で学生相手に「金融論」を論じている。講義では、金融には二通りの道があり、一つは直接金融（＝株式発行による資本金獲得）で、もう一つは間接金融（＝銀行による融資・借入）であると教えている。

学生からはこんな質問がある。株式発行では利益分配による配当金支払義務が生じるものの、元金（資本金）は返済の義務がないのです。反対に銀行借入の場合、期間利息の支払いと約定期限での元金（借入金）返済義務が発生します。よく理解できている。

しかし、先生！日本興業銀行（現みずほ銀行）が新日本製鉄（現新日鉄住金）へ設備資金として融資した貸出金は、貸出期限に継続となり何十年の間借入利息は支払われるものの、元金は返済されたことが一度もないと聴きます。これって本当でしょうか。金融業界志望学生の上級レベルの質問である。

答えは、「然り」。

先生！であれば、この貸金は「ニアリーイーコール→資本金」ということになりませんか。金利支払いと配当金支払いの差はあるものの。

資本金では、「企業の返済義務はなく」他方、株主は「株主有限責任＝投資額以上に会社が負った負債等の返済義務はなし」があるが、融資には、借入企業に期限の利益（契約期

間は原則返済の必要がない）があり、債権者銀行といえども期限前の返済は強要できない。期限内は借入企業のもの。こういった追加の説明をしている。

真面目に聴いている学生を前に、時折「脱線」を試みる。

脱線1：自身の経験した金融制度未発達国々では、貸借契約書が銀行側に8割方有利に作成され「期限の利益中断事項」が散見される。その結果、債権者の銀行は債務者（借入企業）が担保に入れていた不動産や財産を取ってしまう。

脱線2：『実線』＝『点線』なり。『実線』→十線→10 (Ten) 線→『点線』90分の講義は長いので教える側・教えられる側とも息抜き・リラクゼーションタイムが必要。また、授業解説も批判的な側面から疑ってみて、自分の納得した理解へ到達することが大学レベルである。

「信用」（＝金融）とは金融業界で頻繁に出てくる業界用語であるが、日本興業銀行と新日本製鉄の資金の貸借関係において、最も重要な事柄である。お互いの信用関係がそこまで高まる・深まれば、貸出金＝「ニアリーイーコール→資本金」となるのである。そうした関係を将来築くベンチャー企業が一つでも多く出てくるのが期待される。

太成学院大学経営学部長
関戸恒昭

シニアベンチャーが活躍中!! ～ボランティアで出張演奏～

大手銀行を定年で退職された中島 省三氏は学生時代から続けておられるギター演奏の経験を生かしグループで出張演奏の活動をされています。音楽は人が集い心が穏やかになるという思いから地域や企業サークルの集いなどに出かけられ、皆様から大変感謝されておられるようです。今後は活動範囲を広げてさらに地域や諸団体のお役に立つ演奏を目指されています。

また、現職時代の経験を生かし事業継承を主としたコンサルティングもなされており、まさに生涯現役でご活躍されています。

詳しくはエス・エヌ・コーポレーション 代表者 中島省三 様までお問い合わせ下さい。

携帯電話：080-5357-3508
Email: kiy63@cwk.zaq.ne.jp

記・VEC関西支部 事務局

アンサンブル
ルチア
Lucia

フルート・ギターに
マンドリン・マンドラを加えた、
他にないアンサンブルです。

・ボランティアで出張演奏いたします
お気軽に声をかけてください。

連絡先: 中島 省三
福岡市東区成田南が丘37-32
TEL: 080 5357 3508

「出雲大社本殿遷座祭」に参列して

今年、出雲大社と伊勢の神宮とがそろって御遷宮を迎える年。なかでも出雲大社の場合六十年に一度の大行事という貴重な年だ。5月10日、この日が出雲大社の「本殿遷座祭」。平成20年4月から本殿造営・修造のためいったん「仮殿」に遷られていた大国主大神が、修復なった本殿にお遷りになるというご神事である。

私は出雲市出身者。この機会を逃す手はなかりう。「近畿いずも会」という出雲出身者の仲間でバスツアーを組んで出かけることにした。この日は天候が心配された。バスの道中、岡山あたりでは大雨…。しかし、である。夕刻、出雲大社に着いたら、なんとなんと雨は止んでいた。7時、予定通りご神事開始。今にも雨が降りそうで、気になる空模様だった。しかし、暮れなずんでいく辺り一帯は、その怪しげな空模様が、かえって、荘厳な雰囲気を作り上げて行った。境内には、進行の説明以外には、太鼓の音と笛の音、そして、「オオー」という神官の警蹕^(*)の声のみが響き渡る。そんな中で、絹垣に囲まれた御神体が神輿によって仮殿を出発。官司をはじめとする行列に伴なわれながら、瑞垣の周りを一周して本殿に戻って行った。2時間半という時間が、神聖な雰囲気に包まれて、知らぬ間に過ぎて行った。9時半、予定通りにご神事は終了。そして、「これで神事は終了しました」のアナウンスがあった途端のことだった。(後々まで、皆が思い出しては語るのだが、)突然豪雨が降り出した。テントを揺るがし、会話の声を邪魔するほどの雨音だった。

翌日、帰途の途中「万九千神社」で直会実施。この神社は神在月(旧暦10月)に出雲に参集した神々が一堂に会してから旅立つ由緒ある神社。そこで、官司に会った途端「おめでとうございませう」と言われた。最初何のことかよくわからなかった。そして、はたと気がついた。前日の遷座祭に参列したことを言っているのだ、と。われわれは、遷座祭を単なるイベントとして見物する立場ではなく、千載一遇のご神事に加わるというありがたい機会を得られたのであったということ…。

ご神事中は雨がピタッと止み、終了後の突然の豪雨…あれは、そのことを悟らせるために大国主大神によってなされた啓示だったのかもしれない、そう思ったのだった。


(※)【警蹕(けいひつ)】神事の時などに、先払いが声をかけて、あたりをいましめること。

藤井 暉彦

2020東京五輪の経済波及効果!

1964年以来2度目の開催となる56年ぶりの東京五輪!スポーツの祭典とは言え、経済波及効果はどれくらいになるのか…。関心と期待を持たれる企業や人は多いと思います。東京都の試算では約3兆円と推計されているようです。

◆その内訳は…

・サービス業	6510億円 (うち東京都 4779億円)	・建設	4745億円 (うち東京都 4591億円)	
・商業	2779億円 (〃 1419 〃)	・運輸	2426億円 (〃 972 〃)	
・情報通信	1909億円 (〃 1456 〃)	・電気機械	1746億円 (〃 243 〃)	
・不動産	1517億円 (〃 1069 〃)	・金融・保険	1178億円 (〃 789 〃)	
・その他	6799億円 (〃 1435 〃)			
			合計 2兆9609億円 (うち東京都 1兆6753億円)	

業種別ではサービス業が最も大きく、雇用の創出も15万人に達するとの事です。前回開催時には東海道新幹線開業や名神高速道路のほぼ全線開通、東京モノレール開業などもあり所得倍増計画による成長がありました。今回は東日本大震災の復興をはじめ、モノレール、カジノ等の要望もあります是非ベンチャー創出の機会となることを切望するものです。また経済効果150兆円というすごい試算もありますが波及効果が関西をはじめ全国に及ぶことを期待します。(資料・日刊紙等より)

記・VEC関西支部 事務局

～VEC関西より～

・最近、景気が良くなってきたと感じます。アベノミクスの効果が出てきたのでしょうか? まず、株価が上がってきました。不動産の広告が目立ちます。一寸した喫茶店、レストランが混んでいます。まだまだ、秋の気配みたいなものですが、期待していいと思います。さて、このような時、ベンチャーは何をすべきなのでしょう? 今、利益を上げて、次のステップにレベルアップしましょう。そうです。「今でしょ!!!」 (本田)

・オリンピック招致一致団結のプレゼンは素晴らしいですね!「おもてなし」言葉だけではなく、本当の日本の良さが世界中に伝わることを願いたいと思います。(藤本)

・那野比古氏は永年VEC理事としても尽力され現在も多方面でご活躍中です。関戸氏は金融機関出身の大学学部長として教育に携わっておられます。中島氏、藤井氏とも企業OBの経験を生かして貢献されています。てんこもりは2004年10月に発刊以来、お陰様で109号を迎えました。皆様のご協力に感謝申し上げます。(澤村)

<交流会の予定>
平成25年11月27日(水)

・ATAC運営委員長 梶原 孝生 様
・ヒール・ザ・ワールド 代表 島中 恵美 様
「東日本大震災復興企画募集の審査会」

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪府中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293



ランチェスター戦略とはなにか?

“ランチェスター戦略”という競争戦略理論があります。

マーケティング・コンサルタント田岡信雄が1972年に提唱し、40年以上たった今も、メリハリの効いた活動を展開する“しっかり系の会社”で使われ、その発展に貢献している優れたものです。

たとえば、H.I.S.を日本一の旅行エージェントに育てあげた澤田秀雄は、次のように言っています。「メガコンペティションの時代を乗り切り、成功を実現するために、何にでも応用しやすいランチェスター戦略は非常に重要だ。わが社もこの戦略を活用し、挑戦してきた」。

でも、それは、意表をつくすごい理論ではありません。田岡自身、「戦略は常識である。複雑に難しく考えるものではない」と言っています。彼が言う常識は、競争に強いしっかり系の会社の常識です。

たとえば、「勝って勝つセンスを磨くこと」と、「勝てるところで勝っていく」ことです。実際、“競争に強い会社”は、社員を勝たせて育てます。“競争に弱い会社”は、社員を失敗させてつぶします。

“勝ち組になる会社”は、勝てるところで勝っていきます。強いライバルのいない領域を、いくつか攻略していったから、勝負に出ます。見込み客が1万人いても、100人を選び、その獲得に全力を尽くすことからはじめます。

“負け組になる会社”は、負けるところで負けていきます。激戦区の大都市への進出や全国制覇に最初からチャレンジします。見込み客が1万人いれば、1万人に広告などで売り込みをかけます。

ランチェスター戦略を学ぶのは、しっかり系の会社の常識を学ぶことです。また、ランチェスター戦略は、オペレーションリサーチの成果を元に、次の7段階のシェア率の目標値まで提供してくれる親切な理論です。

- ① 上限目標値 74%：(70%でOK) 独走状態
- ② 安定目標値 42%：(40%でOK) 安定的な強者
- ③ 下限目標値 26%：弱者と強者の境目。
シェア1位になっても不安定。
- ④ 上位目標値 19%：弱者のなかの相対的強者。
- ⑤ 影響目標値 11%：マーケットに影響を与える。
- ⑥ 存在目標値 7%：存在が認められる。
- ⑦ 拠点目標値 3%：なんとか存在できる。



(福田秀人著)

マーケットのなかで、安定目標値をクリアできそうなセグメント(小さな領域)をみつけ、そこにもてる力を集中して安定目標値をクリアし、そういったセグメントを順繰り増やしていくのがランチェスター戦略の基本です。

ランチェスター戦略学会副会長
福田 秀人

プノンペン、魅惑のプチパリへどうぞ

パリに行ったことのない私が、「プチパリ」などと言うのはおこがましいが、カンボジアの首都プノンペンには、他の東南アジアの町にはない、独特のセンスがある。

それを、「パリ」などと平凡なたとえにしてしまうが、カンボジアが旧フランス植民地だった歴史を考えれば、あながち間違っていないと思っている。



(写真1)

カンボジアは東南アジアでも最貧国の一つだ。特に首都と地方都市の貧富の格差は歴然としており、プノンペンだけ見て帰ると、カンボジアについて偏った印象しか持たないことになる。一方で、貧困やいまだに国境地帯で発見される地雷がカンボジアの姿か、という、それもまた「すべて」ではない。

当たり前のことだが、一つの国にはさまざまな顔がある。経済成長の機運に乗り、貪欲に幸福を求め都市の人々と、そんな「光」の影となり、いまだ電気も安全な水もない暮らしを強いられる人々。この国に限らず、途上国を訪れる時には、多様な現実をありのままに受け止める、強くて柔らかな心を持っていただきたいと思う。

さて、プチパリに話を戻す。

「雑貨」好きな日本人女性にとってあこがれの地といえば、ベトナム・ホーチミン市。ホーチミンは、かつて雑誌「クレア」などがこぞって特集し、雑貨のみならず、おしゃれ、グルメ、エキゾチックな旅を楽しむ旅行先として定着した。そのホーチミンに住む女性の友人が、プノンペンを絶賛している。

まずは、ブティックホテル。プノンペンには瀟洒なコロニアル調の一戸建て邸宅がたくさんある。商業ビルができる前は、これらが国際機関や民間企業のオフィスとなっていたが、今はビルができて空き家が結構目立つ。

そのせいか、市内にはプチホテルがやたらと増えているのだ。

広い庭に木陰のあるプール、今では手に入らないような木製の重厚感ある調度品、豪邸の客室に泊まったような気分になる部屋。しかも住宅地にあるから、レストランやカフェも近い。



(写真2)

高い壁に囲まれた邸宅は、首都の真ん中にぽっかりと静かな空間を創る。

こうした空間をやたらと破壊することなく、利用するところに「センス」を感じるのだ。

それから食道楽にはうれしい国際色豊かな食の街であること。カンボジアでは1991年に内戦が終結し、その後、世界各国から支援の手が差し伸べられた。紛争のたまもの、と言うと語弊があるが、各国から集まる援助関係者はやがてプノンペンにさまざまな各国の味を持ち込む。そのいずれもがレベルが高いのは、カンボジア人の舌が肥えているから、と私は思う。プノンペンの人々は、グルメなのだ。高級店から庶民派食堂まで、とにかく「おいしい店」に人は集まる。店の前に停まったバイクの数で評価が分かる、というものだ。シビアなもので、だからプノンペンのレストラン地図は頻繁に塗り替えられる。

カンボジアを、「貧困にあえぐかわいそうな国」という視点で見ているなら、おしゃれな街並みを愛し、安くても高くても味にうるさい食道楽なプノンペンっ子の「人生の楽しみ方」には触れられない。「プチパリ」、プノンペンへようこそ!

月刊誌「プノン」編集長 木村文：プノンペン在住

※写真説明

写真1：新旧ライフスタイルが入り混じったプノンペンの町。混沌とした中にエネルギーを感じる。

写真2：最近プノンペンで流行中のプチホテルのひとつ。宿泊しなくてもプールサイドでビールやカクテルだけ楽しむこともできる。

★日頃多方面でご活躍中の 株式会社バンステーション 代表取締役 岡田政之様から現在コーディネーターとして関わっておられる「全日本農商工連携推進協議会」について概要をお伺いしました

Q：農業応援隊・全日本農商工連携推進協議会の目的についてご説明ください。

A：日本の農業を取り巻く環境（高齢化による廃業・休耕地増加、温暖化や異常気象、農業資材の高騰、TPP問題など）、食料、農業、農村の課題、解決するために農商工連携、6次産業化を推進する。

Q：主な活動事業内容や実績はどのようなものがありますか

A：年四回の農業セミナー、及び年四回の農業農村サポーターズマガジン「農業応援隊」の発刊農業応援コミュニティサイト「みんなのふるさと」の運営。

Q：9月に「2013 秋季・農業セミナー&交流会」を大阪市内で開催されましたが反響はいかがでしたか

A：去年の5月よりスタートして、9月のセミナーは7回目（大阪5回、東京1回）の開催となったが毎回100人席がほぼ一杯の参加者で、リピーターやコアメンバーも増加している。

第8回は12月2日（月）18時から、定例の住友クラブ（肥後橋）で開催予定。

Q：農林業に応援策を期待しますが、今後の活動はどのようなものを予定されていますか

A：永く1次産業であった農林漁業を2次産業（加工製造）、3次産業（商業流通サービス業）を一体化することで6次産業化を図る。（1次×2次×3次＝6次）

農業ベンチャーの発掘、育成も視野に入れ、国や自治体の農業ファンドや支援策ともつなげていく。

～ご協力有難うございました。ご発展を期待いたします。～

VECレポーターが行く！！

① 一般社団法人テラプロジェクトでものづくり支援事業「わらしべ市」が開催されました。

9月28日（土）に大阪富国生命ビル4Fにて大阪市ほかの後援も得て第一回わらしべ市が盛大に開催されました。

企業・個人をあわせ皆様が創作された作品33点を、相互に交換や販売もなされ物づくりの楽しさ・嬉しさを参加者と出展者が体験されました。

当日はシャープ株式会社からの講演や交流会もあり最後まで盛り上がりました。今後、本市を「アイデアをカタチに」を実行され物品の商品化等を後押しできるための新イベントとして、回を重ねて行かれる予定です。

この事業が物づくりの文化に寄与されることを期待しております。

② ナレッジサロン（グランフロント大阪内）の体験レポート

今年4月に開業した複合施設 グランフロント大阪の北館7階に会員制サロンがオープンされていますので、この度見学体験しました。談話や交流で熱気あふれるサロンからベンチャーや起業家が輩出されることを願っております。

<サロンのコンセプト>

ビジネスパーソン、研究者、行政関係者、クリエイターなど様々な分野や人々と「出会う」「混じあう」「発見する」「成長する」をコンセプトに価値創造を目指す会員制サロンです。

<サロンの概要>

ラウンジ、プロジェクトルーム、ライブラリー、ワークスペースなどが1200㎡のフロア内に設置され、ゆったりと談話ができるよう配慮されている。

営業時間は9：00～23：00 ・会員限定の木曜サロンも開催されている。

<企業・団体向け>

一般社団法人ナレッジキャピタルではナレッジサロンのほかビジネス拠点やイベント・セミナー会場の情報も提供するなど価値創造を目指されている。

わらしべ長者



(参照・ホームページ)

～VEC関西より～

・今年の夏は暑かったですね。その分海水温が上がったのか台風が猛威をふるいました。その代り豊作だそうです。悪いことばかりではないですね。
(本田)

・私の住んでいる地域が現在古家再生による街づくりとしてプロジェクトがすすんでいます。古い空き家や蔵を改修しカフェ、レストランに様変わりしています。オーナーも若い人が多く以前行ったカフェも女性オーナーでこのプロジェクトにより彼女の夢の実現に向けがむしゃらに頑張っている姿についつい応援したくなりました。
(濱本)

・福田先生には講演会でさらに詳しくお聞きしたいと思っております。ブロンペン在住の木村文様からこれからの発展が期待されている現地からのレポートをいただきました。岡田代表からは本業以外に関わっておられる農業支援についてお伺いしました。皆様今後のご活躍を期待しております。
(澤村)

<交流会の予定>

12月は例年どおり開催はございません。